

1 年 次 生

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Tp) I	遠山拓志

科目概要

- 1、基礎の強化
- 2、基礎理論の理解
- 3、スケール、Lickの習得

到達目標

コープラッシュを始めとする教本を使い、基礎技術の向上を目指します。  
基礎的なスケール、コードアルペジオ等を習得し、単純コードのアドリブに応用できるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	顔合わせ、授業内容の説明
第2回	基礎1	コープラッシュ、スケール、リップスラー 楽器の仕組み、発音の仕組み、呼吸法
第3回	基礎2	コープラッシュ、スケール、リップスラー バズィング、マウスピースの性格と傾向
第4回	基礎3	コープラッシュ、スケール、リップスラー メジャートライアドのアルペジオ
第5回	基礎4	コープラッシュ、スケール、リップスラー メジャートライアドのアルペジオ
第6回	基礎5	コープラッシュ、スケール、リップスラー メジャートライアドのアルペジオ
第7回	試験1	コープラッシュより出題 専攻グレードに合わせてスケール演奏を出題

クォーター末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	1クォーターまでの確認
第2回	基礎6	コープラッシュ、スケール、リップスラー マイナートライアドのアルペジオ、HMP5 ↓
第3回	基礎7	コープラッシュ、スケール、リップスラー マイナートライアドのアルペジオ、HMP5 ↓
第4回	基礎8	コープラッシュ、スケール、リップスラー マイナートライアドのアルペジオ、HMP5 ↓
第5回	基礎9	コープラッシュ、スケール、リップスラー セブンスコード及びsec.Dの理解
第6回	基礎10	コープラッシュ、スケール、リップスラー セブンスコード及びsec.Dの理解
第7回	基礎11	コープラッシュ、スケール、リップスラー セブンスコード及びsec.Dの理解
第8回	試験2	コープラッシュより出題、専攻グレードに合わせてスケール演奏を出題、sec.Dを含む循環コードのソロ演奏

学期末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率  
演奏技術の向上を判定します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Tp) II	遠山拓志

科目概要

- 1、基礎の強化(音域の拡大、音圧の拡大)
- 2、基礎理論の理解
- 3、スケール、Lickの習得

到達目標

コープラッシュを始めとする教本を使い、基礎技術の向上を目指します。  
基礎的なスケール、コードアルペジオ等を習得し、単純コードのアドリブに応用できるようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	2クォータまでの確認
第2回	基礎12	コープラッシュ、スケール、リップスラー コードトーンとガイドトーン、Fblues
第3回	基礎13	コープラッシュ、スケール、リップスラー コードトーンとガイドトーン、Fblues
第4回	基礎14	コープラッシュ、スケール、リップスラー コードトーンとガイドトーン、Fblues
第5回	基礎15	コープラッシュ、スケール、リップスラー F-blues、Bb-blues、ハイノートトレーニング
第6回	基礎16	コープラッシュ、スケール、リップスラー F-blues、Bb-blues、ハイノートトレーニング
第7回	試験3	コープラッシュより出題。専攻グレードに合わせてスケール演奏を出題。Blues進行のソロ演奏。

クォーター末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	3クォータまでの確認
第2回	基礎17	コープラッシュ、スケール、リップスラー ハイノートトレーニング、shake、セクション奏法
第3回	基礎18	コープラッシュ、スケール、リップスラー ハイノートトレーニング、shake、セクション奏法
第4回	基礎19	コープラッシュ、スケール、リップスラー ハイノートトレーニング、shake、セクション奏法
第5回	基礎20	コープラッシュ、スケール、リップスラー セクション奏法、デュエット
第6回	基礎21	コープラッシュ、スケール、リップスラー セクション奏法、デュエット
第7回	基礎22	コープラッシュ、スケール、リップスラー セクション奏法、デュエット
第8回	試験4	コープラッシュより出題。専攻グレードに合わせてスケール演奏を出題。Blues進行のソロ演奏。デュエット曲の演奏。

学期末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率  
演奏技術の向上を判定します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Sax) I	佐々木亜紀子

科目概要

コード進行とスケールの関係性を学びながら、アドリブソロを取得していきます。

到達目標

ブルース曲、ジャズスタンダード曲でアドリブソロを演奏出来る事を目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	アドリブ入門	メジャースケールとマイナースケールを学びます。
第2回	ブルース1	マイナーペンタニックスケールを学びます。
第3回	ブルース2	マイナペンタニックスケールのフレーズを学びます。
第4回	ブルース3	メジャースペンタニックスケールとフレーズを学びます。
第5回	ブルース4	ブルーススケールを学びます。
第6回	ブルース5	ブルーススケールのフレーズを学びます。
第7回	試験	ブルース曲のテーマとアドリブソロを演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み方、理解力で評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	メジャーダイアトニックコード1	ダイアトニックコードを理解し、アルペジオで演奏します。
第2回	メジャーダイアトニックコード2	ダイアトニックコードとモードの関係を学びます。
第3回	ダイアトニックコードとモード1	イオニアンとドリアンのスケールとフレーズを学びます。
第4回	ダイアトニックコードとモード2	フリジアンとリディアンのスケールとフレーズを学びます。
第5回	ダイアトニックコードとモード3	ミクソリディアンのスケールとフレーズを学びます。
第6回	ダイアトニックコードとモード4	エオリアンとロクリアンのスケールとフレーズを学びます。
第7回	ダイアトニックコードとモード5	実際に曲を分析して、アドリブソロを演奏します。
第8回	試験	ジャズスタンダード曲のアドリブ例の演奏と自分自身のアドリブソロを演奏します。

学期末試験評価方法

出席率、授業への取り組み方、理解力で評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Sax)Ⅱ	佐々木亜紀子

科目概要

ダイアトニックコードとノンダイアトニックを理解し、アドリブソロに広がりを持たせます。

到達目標

曲分析(コード進行に対するスケール)の正確性を目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	マイナーダイアトニックコード1	3つのマイナーダイアトニックコードを学びます。
第2回	マイナーダイアトニックコード2	ハーモニックマイナー・パーフェクト5thピローを学びます。
第3回	マイナーダイアトニックコード3	マイナーダイアトニックコードとモードの関係を学びます。
第4回	Ⅱ Vフレーズ1	メジャーⅡ Vフレーズを学びます。
第5回	Ⅱ Vフレーズ2	マイナーⅡ Vフレーズを学びます。
第6回	Ⅱ Vフレーズ3	Ⅱ Vフレーズを曲で実践してみます。
第7回	試験	メジャーとマイナーⅡ Vフレーズ例を12keyで演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率、授業への取り組み方、理解力で評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ノンダイアトニックコード1	ノンダイアトニックコードとスケールの関係を学びます。
第2回	ノンダイアトニックコード2	リディアンb7thのスケールとフレーズを学びます。
第3回	ノンダイアトニックコード3	リディアンb7thのフレーズを様々なKeyで実践してみます。
第4回	ノンダイアトニックコード4	リディアンb7thとハーモニックマイナー・パーフェクト5thピロウの使い分けを曲で分析します。
第5回	ノンダイアトニックコード5	オルタードスケールを学びます。
第6回	ノンダイアトニックコード6	オルタードスケールのフレーズを学びます。
第7回	ノンダイアトニックコード7	実際に曲を分析して、アドリブソロを演奏します。
第8回	試験	ジャズスタンダード曲のアドリブ例の演奏と自分自身のアドリブソロを演奏します。

学期末試験評価方法

試験評価方法を120字程度で記入してください。このセルは自動折り返しの設定になっています。箇条書きなどで改行が必要な場合は(Alt+Enter)で行ってください。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Gt) I	菅原潤子

科目概要

ギター演奏における基礎を学びます。  
読譜&採譜。

到達目標

ギター演奏における基礎を学び、バックイング演奏やアドリブソロで活かせるようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	授業内容の説明 今後の授業の進め方確認
第2回	フォーム&運指の確認	フォーム&運指の確認 指板の理解
第3回	メジャースケール I	メジャースケール5ポジション
第4回	メジャースケール II	メジャースケール5ポジション。ダイアトニックコード
第5回	表情をつけるテクニック	ヴィブラート、ベンディング、スライド、ハンマリング&プリング等
第6回	コードフォーム I	コードフォーム & アルペジオ
第7回	試験	試験

クォーター末試験評価方法

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。  
既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	おさらい	1クォーターのおさらい
第2回	コードフォーム II	コードフォーム & アルペジオ ダイアトニックアルペジオ
第3回	マイナースケール	3種類のマイナースケール。ダイアトニックコード
第4回	ペンタトニックスケール I	ペンタトニックスケール5ポジション
第5回	ペンタトニックスケール II	メジャー&マイナーペンタトニック
第6回	ブルース	ブルース演奏
第7回	コピー	既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する
第8回	試験	試験

学期末試験評価方法

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。  
既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Gt) II	菅原潤子

科目概要

ギター演奏における基礎を学びます。  
読譜&採譜。

到達目標

ギター演奏における基礎を学び、バック演奏やアドリブソロで活かせるようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	おさらい	2クォーターのおさらい
第2回	ドリアン	ドリアン
第3回	フリジアン	フリジアン
第4回	リディアン	リディアン
第5回	ミクソリディアン	ミクソリディアン
第6回	ロクリアン	ロクリアン
第7回	試験	試験

クォーター末試験評価方法

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。  
既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	おさらい	3クォーターのおさらい
第2回	アナライズ	様々な楽曲をアナライズします
第3回	バックⅠ	様々な音楽スタイルのバックを学びます
第4回	バックⅡ	様々な音楽スタイルのバックを学びます
第5回	セカンダリードミナント	セカンダリードミナント
第6回	転回形Ⅰ	コードの転回形を学びます
第7回	コピー	既存の楽曲を耳コピーし譜面にして演奏する
第8回	試験	試験

学期末試験評価方法

出席率、授業態度、取り組む姿勢。授業内容の理解度。  
既存の楽曲を耳コピーし、譜面におこして演奏する。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Key) I	藤本暁子

科目概要

アンサンブルや、ジャズセッションに必要なキーボードのテクニック(主にコードに関して)を学習していきます。両授業で取り上げている曲を中心にフォローアップの形で進めていきます。加えて、学生それぞれが直面している悩みも取り上げ、授業内で解決できるよう進めていきます。

到達目標

この授業で学習したことが、アンサンブルやセッションといった授業に活用できたり、学科内の自主ライブに活用できているかどうか。そして、その技法を一つ一つ理解し、応用できているか。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Major key : II m - V7 - I M7	♪ : Satin doll
第2回	Major key : II m - V7 - I M7(転回形)	♪ : Joy spring
第3回	Minor key : II m(b5) - V7 - I m7	♪ : Black Orpheus
第4回	Minor key : II m(b5) - V7 - I m7(転回形)	♪ : Fly me to the moon
第5回	II m - V7 - I M7 & II m(b5) - V7 - I m7	♪ : Confirmation
第6回	試験	課題曲を演奏する。(録画します。)
第7回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、2Qに向けての目標を設定する。

クォーター末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻も多いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第2回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第3回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第4回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第5回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第6回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第7回	試験	課題曲を演奏する。(録画します。)
第8回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、3Qに向けての目標を設定する。

学期末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻も多いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。



ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Key) II	藤本暁子

科目概要

アンサンブルや、ジャズセッションに必要なキーボードのテクニック(主にコードに関して)を学習していきます。両授業で取り上げている曲を中心にフォローアップの形で進めていきます。加えて、学生それぞれが直面している悩みも取り上げ、授業内で解決できるよう進めていきます。

到達目標

この授業で学習したことが、アンサンブルやセッションといった授業に活用できたり、学科内の自主ライブに活用できているかどうか。そして、その技法を一つ一つ理解し、応用できているか。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	色々な形のコンピング	色々な今日のスタイルのコンピングを学習。(Swing, Bossa, Samba, Latin, 16beat, etc…)
第2回	色々な形のコンピング	色々な今日のスタイルのコンピングを学習。(Swing, Bossa, Samba, Latin, 16beat, etc…)
第3回	色々な形のコンピング	色々な今日のスタイルのコンピングを学習。(Swing, Bossa, Samba, Latin, 16beat, etc…)
第4回	色々な形のコンピング	色々な今日のスタイルのコンピングを学習。(Swing, Bossa, Samba, Latin, 16beat, etc…)
第5回	色々な形のコンピング	色々な今日のスタイルのコンピングを学習。(Swing, Bossa, Samba, Latin, 16beat, etc…)
第6回	試験	課題曲を演奏する。(録画します。)
第7回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、4Qに向けての目標を設定する。

クォーター末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻も多いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第2回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第3回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第4回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第5回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第6回	フォローアップ	アンサンブル & ジャズセッション授業において、できていないところの強化。
第7回	試験	課題曲を演奏する。(録画します。)
第8回	総括	試験の映像を見て、反省すると共に、2年生に向けての目標を設定する。

学期末試験評価方法

毎回の授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻も多いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Ba) I	三枝俊治

科目概要

ベースという楽器の演奏上の基礎的な項目を、専攻実技とは違った角度でグループレッスンで勉強します。読譜、リズムトレーニング、運指の練習を通して各自の課題に取り組み、また他の授業で遭遇した課題、問題点、質問にも対応します。

到達目標

長時間の演奏でも体を痛めない正しいフォーム、正確なビートとサブディヴァイドされたリズム感、基礎的な読譜の能力等を身に付ける事を目標とします。2年間の学生生活から卒業後に自己鍛錬を続ける事まで視野に入れた土台作りとなります。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーションとエクササイズ	この授業の年間の計画を説明し、受講するに当たってのビジョンを共有してもらいます。基本的なエクササイズを練習します。
第2回	ベースラインの基礎	アンサンブル等で求められるベースラインの作り方の基礎を、簡単なコード進行を基に実際に演奏してみます。
第3回	コードネーム基礎と指板上の形	コードネームの基礎とメジャー、マイナー、セブンスなどが指板上でどの様に並ぶのかを学びます。
第4回	基礎確認課題と運指	クォーター末の実技試験の基礎確認課題を練習します。運指の効率的な考え方を学びます。
第5回	リズム基礎	タイム、ビート、リズム、グルーブ等の言葉の意味を確認し、練習に活かせるよう解説します。
第6回	読譜とリズム	様々なスタイルのリズムの譜面上の表記を確認し、目で見てリズムを捉えるトレーニングをします。
第7回	読譜(試験)	授業で既に学んだ楽譜の演奏を試験します。

クォーター末試験評価方法

出席を最重視します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点。平常授業期間中の取り組みと努力の成果など各自の進歩具合と、読譜力と演奏力の試験結果を合わせて採点します。良いリズムで演奏することが重要です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	2クォーター基礎確認課題とエクササイズ	学期末の基礎確認課題を練習します。ブルーススケールと合わせてペンタトニックのエクササイズも練習します。
第2回	シンコペーションの練習	What a fool believesのフレーズを使って、8ビートのシンコペーションとサブディヴァイドを練習します。
第3回	演奏スタイルのバリエーション	2フィンガー、スラップ、ピッキング、サムピッキング等の演奏法にトライし、同じフレーズで異なった表現を練習します。
第4回	3連符の練習	シャッフルやスウィングのリズムと、2拍3連、4拍3連のリズムの取り方を学び、交互に行き来できる様に練習します。
第5回	16分音符のサブディヴァイド	16分音符と休符の組み合わせとその表記を学び、正確にサブディヴァイドされたリズムで演奏する練習をします。
第6回	3連符のサブディヴァイドの組み合わせ	3連符の中抜き、頭抜きなどのフレーズを、ビートを感じながらサブディヴァイドして演奏する練習をします。
第7回	シャッフルの演奏	Isn't She Lovely を題材に、シャッフルのリズムと3連符のサブディヴァイド、2拍3連などが組み合わせられた演奏を練習します。
第8回	リズムとコードトーン(試験)	Isn't She Lovely を題材にコードトーン(理解と自由なリズム)の演奏ができるかどうかを試験します。

学期末試験評価方法

出席を最重視します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点。試験では決まったコード進行とメロノームに合わせた正しいリズムの中で如何に自由に演奏ができるかどうかを採点します。1クォーターと2クォーターの点数を合わせて評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング(Ba) II	三枝俊治

科目概要

秋学期は少し高度な内容に挑戦していきます。技術的には左手による音の切り方、右手のアクセントのつけ方等を練習して音符の長さをコントロールし、より音楽的に演奏する方法を学びます。キーとダイアトニックコードの認識など理論的な事も合わせて学んでいきます。

到達目標

音価とダイナミクスをコントロールすることにより、より音楽的な表現ができるレベルまで到達することが目標です。また、キーとダイアトニックコードから基礎的なコード進行の分析ができるようになる事も目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	表現力を磨くエクササイズ	左手異弦同フレット移動のエクササイズで音を短く切る練習をします。右手のレイキングと跳び弦フレーズも練習します。
第2回	コードネームと構成音	I Want You Back のフレーズを題材に、メジャー、マイナーの3和音を確認し、セブンスコードとテンションまで広げて学びます。
第3回	3クォーター基礎確認課題と運指	ポジション移動を伴うスケール練習を通して、効率的なポジション移動の運指の考え方を学びます。
第4回	コードトーンとベースライン	コードトーンを中心に8ビートと16ビートのベースラインを曲調に合わせて自分で考えて演奏する練習をします。
第5回	ウォーキングベース	コードトーンとコードトーンをつなぐ経過音の使い方を学び、よりスムーズなベースラインを作ります。
第6回	キーとスケールとベースライン	スタンダードの曲を題材に、キーとスケールを念頭に置いたベースラインの作り方を学びます。
第7回	ウォーキングベース(試験)	枯葉、Bye Bye Black Bird、All The Things You Are、Bluesなどを題材にウォーキングベースの演奏をテストします。

クォーター末試験評価方法

出席を最重視します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点。今後重要になってくるコードトーンと経過音の理解と演奏、及び、右手のピッキング、ポジション移動の際の左手のフォームを見ます。総合的に安定したリズムでスムーズな演奏ができるかどうかを採点します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	4クォーター基礎確認課題と運指	ハーモニックマイナー、ジャズマイナースケールの運指を考えます。講師の提案した運指を参考に自分流も考えてみます。
第2回	メジャーコードトーンとアプローチノート	メジャー3和音の上から、下から、上下からのアプローチノートを学び、効率的な運指を考え、練習します。
第3回	マイナーコードトーンとアプローチノート	マイナー3和音の上から、下から、上下からのアプローチノートを学び、効率的な運指を考え、練習します。
第4回	アプローチノートの活用	実際の曲の中でアプローチノートをどのように使うことができるか、演奏してみます。
第5回	ダイアトニックから外れる音の認識	マイナーキーのドミナントコードやセカンダリドミナントなど、ダイアトニックから外れる音を含むコード進行でのアドリブを考えます。
第6回	スライドの表現力	Just The Two Of Us と Home At Last のフレーズを題材に、スライドの技術の練習をします。
第7回	スピード感覚のトレーニング	星空サイクリング、Let It Flow 等を題材に、スピード感覚をトレーニングします。
第8回	ベースラインの構築(試験)	コード進行とリズムを提示し、ベースラインを自分で構築する力をテストします。

学期末試験評価方法

出席を最重視します。欠席一回マイナス3点、遅刻一回マイナス1点。自由にベースラインを作って良いリズムで演奏する能力と自由に演奏する際に左手、右手のフォームがしっかりしているかどうかを採点します。3.4クォーターの点数を合わせて評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ベーシクトレーニング(Ds) I	増田 博之

科目概要

ドラムセットの基本として必要なスネアドラムの奏法を習得します。スネアドラム:1,2,5,7,9つ打ち、ロール奏法、アクセントの技術の他に、基礎リズムを演奏してリズムの取り方や感じ方を学びます。

到達目標

正しい奏法を身につけ、音色や音量・リズムの捉え方などの観点からドラムセットへの応用を目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	授業の説明(授業の目的、準備するもの、評価の方法)
第2回	1つ打ち・基礎リズム	スティックの持ち方・構え方。1つ打ち、ストロークの説明。基礎リズムの演奏。加減速。
第3回	2つ打ち	奏法の説明・加減速・オープンロール。
第4回	パラディドルアクセント	シングル・ダブルパラディドルの奏法。アクセントの奏法と練習のバリエーション。
第5回	エチュードの演奏	打楽器教則本より数曲取り上げこれまでのテクニックを確認し、音色を意識した奏法の確立
第6回	試験準備	Iクォーターで学習したこの確認、復習。
第7回	テスト	基礎リズム、1つ打ち・2つ打ちの加減速。エチュード1曲。

クォーター末試験評価方法

スティックの持ち方・構え方・正しい奏法、左右のバランスと音色へのアプローチ、正確なリズムを評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	5つ打ち	5つ打ちの加減速。拍子の理解。
第2回	7つ打ち	7つ打ちの加減速。拍子の理解。
第3回	フラム・ドラッグ	フラム・ドラッグの奏法の説明。音作りについて。
第4回	ルーディメント	フラムアクセント・フラムタップ・フラムパラディドルなどの奏法の説明。
第5回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より2/4拍子
第6回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より2/4拍子
第7回	試験準備	IIクォーターで学習したことの確認、復習。
第8回	テスト	5つ・7つ・9つ打ちの加減速。(当日指定)エチュード1曲。

学期末試験評価方法

正しい奏法、音色と音量、正確なリズム、強弱への対応、テンポ等で評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ベーシクトレーニング (Ds) II	増田 博之

科目概要

打楽器の基本として、スネアドラムの奏法を習得します。スネアドラム:5~15打ち、ルーディメント等の技術を習得します。

到達目標

ルーディメント等の必要技術を身につけ、説得力のある演奏を目指します。また、2重奏を通してアンサンブル能力の向上を目指し、総合的な音楽作りを研究します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	10打ち・11打ち・13打ち	加減速・拍子の説明。
第2回	ルーディメント	教則本に出てくるルーディメントを個別に取り上げ、奏法を理解する。
第3回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より2/4拍子
第4回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より6/8拍子
第5回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos より6/8拍子
第6回	試験準備	Ⅲクォーターで学習したことの確認、復習。
第7回	テスト	10・11・13打ちの加減速。Correction Drum Solosより1曲。

クォーター末試験評価方法

左右の音色と音量、リズムの正確さ、強弱への対応、ミスのない演奏などを評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	クローズドロール	奏法の説明。スティックの動き。音色の作り方。音量の出し方。
第2回	エチュードの演奏	Modern School for S.Dを使って曲の中でクローズドロールを演奏。
第3回	エチュードの演奏	様々な拍子の曲を演奏(変拍子も含む)
第4回	2重奏の演奏	S.D2重奏を演奏。
第5回	2重奏の演奏	S.D2重奏を演奏。
第6回	エチュードの演奏	Correction Drum Solos / Modern School for S.D
第7回	試験準備	Ⅳクォーターで学習したことの確認、復習。
第8回	テスト	クローズドロール・エチュード1曲・2重奏1曲。

学期末試験評価方法

正しい奏法、音色と音量、正確なリズム、強弱への対応、テンポ等で評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Tp,Tb) I	宮本裕史

科目概要

ジャズ&ポピュラーにおける金管楽器での多様なアドリブスタイルを習得するための基礎部分学習です。

到達目標

ビバップスタイルを基礎にした単音楽器での和声進行表現を実現するため、ドミナントモーションの分散和音的表現、そしてアプローチノート各種の習得を目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	講義概要説明など	アドリブ方法論の解説と今期の講義予定・目標の説明。また、各生徒一人一人の技術や知識の確認もします。
第2回	分散和音を使った和声解決表現 1	V7から抽出した3、5、7、b9アルペジオとImアルペジオの反復を即興で演奏し、最も原始的なアドリブを経験します。
第3回	分散和音を使った和声解決表現 2	上記練習のテンポアップと転調を経験します。
第4回	分散和音を使った和声解決表現 3	マイナーペンタニックやブルーノートを使ったブルース表現を学び、上記練習と混ぜ合わせて練習してみます。
第5回	アプローチノートの技法 1	様々なアプローチノートとデレイドリゾルブについて説明。その利点と使用法、練習法を解説します。
第6回	アプローチノートの技法 2	3~4音を使ったデレイドリゾルブをマイナーコード上でダイアトニックスケールの練習に織り交ぜる訓練をします。
第7回	1クォーターのまとめ	1~6回の授業の理解度を、質問・筆記(ホワイトボードへの板書)・実演にて確認し、追加解説にて不足を補います。

クォーター末試験評価方法

第7回授業での質問・筆記・実演にて判断。それぞれの理解の度合いを評価します

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	分散和音を使った和声解決表現 4	曲に指定されたタイミングではなくアドリブのメロディラインに自由にドミナント機能を持った音を挿入する訓練をします。
第2回	分散和音を使った和声解決表現 5	上記練習のテンポアップを経験します。
第3回	これまでの手法の統合 1	これまで身につけた各技法を統合したアドリブラインを、譜面上で作成し、それを評価と解説し理解を深めます。
第4回	これまでの手法の統合 2	上記譜面を再制作し、習得度を確認。同時に演奏し、その譜面にマッチした吹き方やリズムなどの最適解などを探ります。
第5回	これまでの手法の統合 3	上記技法統合をスローテンポながらもリアルタイムで演奏し訓練。情報処理速度の向上を目指します。
第6回	夏休み明けの進歩確認	上記技法統合のスピードを長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
第7回	模擬試験と採点	次週行う上記技法統合の筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演の模擬試験を行います。
第8回	譜面提出と実演(試験)	技法統合の筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演。

学期末試験評価方法

理解度、習得度を重要視し採点。アドリブリアルタイム実演における情報処理速度不足については重要視せず、スローテンポでの演奏を許可します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Tp,Tb)II	宮本裕史

科目概要

春学期につづき、ジャズ & ポピュラーにおける金管楽器での多様なアドリブスタイルを習得するための基礎部分学習をさらに進め、同時に複数の技法の統合訓練もしていきます。

到達目標

ビバップスタイルを基礎にした単音楽器での和声進行表現を実現するため、ドミナントモーションの分散和音的表現と音階的表現、そしてアプローチノート各種の習得を目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	combination of diminished scale 1	combination of diminished scaleの特性の把握と演奏訓練です。
第2回	combination of diminished scale 2	combination of diminished scaleを使ったドミナントモーション表現をゆっくりなテンポから練習していきます。
第3回	combination of diminished scale 3	春学期で身につけた技法との統合をします。
第4回	先例の分析とストックフレーズ作成	過去の名演でのドミナントフレーズなどを分析し構造を把握。また同様な物を自作し自己内定番フレーズにしてみます。
第5回	diminished scale	トニックディミニッシュなど、ディミニッシュスケールを利用すべき場面での演奏方法の理解と練習をします。
第6回	ブルース進行でのアドリブ 1	ジャズブルース和声進行の編集可能なバリエーションを確認し今までの技法をあてはめソロを書いて演奏してみます。
第7回	ブルース進行でのアドリブ 2	上記内容の筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演をしてもらいます。

クォーター末試験評価方法

理解度、習得度を重要視し採点。アドリブリアルタイム実演における情報処理速度不足については重要視せず、スローテンポでの演奏を許可します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	There will never be another you	曲の和声進行の編集可能なバリエーションを確認し今までの技法をあてはめソロを書いたり演奏してみます。
第2回	Bye bye black bird	上記と同様主旨。スライドしていくドミナント7コードとトニックディミニッシュの体験をします。
第3回	Just friendsとBlue Bossa	上記と同様主旨。サブドミナントマイナーと部分的な転調を体験します。
第4回	冬休み明けの進歩確認	アドリブにおける情報処理速度を長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
第5回	You'd be so nice to come home to	曲の和声進行の編集可能なバリエーションを確認し今までの技法をあてはめソロを書いたり演奏してみます。
第6回	Rhythm Change	上記と同様主旨。セカンダリドミナントやアップテンポ、様々な応用方法を体験します。
第7回	模擬試験と採点	次週行うジャズ曲アドリブの筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演の模擬試験を行います。曲は選択自由。
第8回	譜面提出と実演(試験)	ジャズ曲アドリブの筆記提出、提出譜面演奏、リアルタイム即興実演。

学期末試験評価方法

理解度、習得度を重要視し採点。アドリブリアルタイム実演は情報処理速度不足については重要視しませんが、慌てながらも音楽的成立を目指す作業内容を評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Sax) I	宮崎隆睦

科目概要

アドリブで演奏するにあたって、作曲家のようなメロディをつくる“ひらめき”があるに越したことはないですが、論理的なアプローチをすることで、誰もが演奏できるものです。(参考テキスト:ブラス・バンドのためのジャズ・アンサンブル, ブラスバンド名曲50選)

到達目標

リズム・メロディ・ハーモニー、音楽の三要素、それぞれの観点からアドリブに取り組みます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス/JAZZスタイルの基本	自己紹介、一年間の流れの説明/基本のアーティキュレーションについて
第2回	ドミナント7thとブルース	Major7th, 7th, minor7thコードとブルース進行について
第3回	アドリブ演奏してみよう	リズムでアドリブ/ブルーススケールでアドリブ
第4回	ブルース	ブルーススケールの確認/ベンド&スクープ/コール&レスポンス
第5回	ビバップ	半音階を使ったビバップ風フレーズ
第6回	ラテンとロックスタイル	イーブンのリズム(スイングしない)の確認
第7回	マイナーコードの表現	ドリアンモード、その他のスケールの復習

クォーター末試験評価方法

授業への取り組み方、及び演奏内容で評価します。連続性のある内容なので、出席も重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	アンサンブルをつくる	リードシートからベースライン、バックিংを導き出し、アンサンブルにする。
第2回	ジャズスタンダード1	ジャズスタンダードの分析と演奏 (例: Autumn Leaves/Fly Me to the Moon)
第3回	ジャズスタンダード2	ジャズスタンダードの分析と演奏 (例: There will never be another you)
第4回	ジャズスタンダード3	ジャズスタンダードの分析と演奏 (例: The Days of Wine and Roses)
第5回	ジャズスタンダード4	ジャズスタンダードの分析と演奏 (例: All of Me/Satin Doll)
第6回	リズムチェンジ	リズムチェンジ(循環)形式の分析と演奏 (例: Oleo/I Got Rhythm)
第7回	様々なブルース	ブルースの新たなレパートリー (例: Au Privave/Billie's Bounce/Blue Monk他)
第8回	春学期のまとめ	2クォーターで演奏してきた曲の中から1曲を選び、アドリブを含んだ演奏をする。

学期末試験評価方法

授業への取り組み方、及び演奏内容で評価します。連続性のある内容なので、出席も重視します。



ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Sax)Ⅱ	宮崎隆睦

科目概要

ジャズの殿堂、バークリー音楽大学で使われているテキスト「HOW TO IMPROVISE」を使用し、アドリブをおこなうのに必要なトレーニングを、論理的かつ、多角的に考えていきます。(参考テキスト:HOW TO IMPROVISE/HAL CROOK)

到達目標

リズム・メロディ・ハーモニー、音楽の三要素、それぞれの観点からアドリブに取り組みます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	演奏/休止のアプローチ	フレーズの組み立てのペース配分を考える
第2回	メロディをガイドに	テーマのメロディに使われている音をつかって、ソロを組み立てる
第3回	フレーズの長さ/密度	フレーズの長さ、音数を考え組み立てる
第4回	タイムフィール	スウィング、アクセント、シンコペーションによる表現
第5回	メロディの装飾/ノンハーモニックメロディノート	アプローチノートや経過音をつかってメロディを装飾する
第6回	コードの変わりめにおけるメロディックモーション	メロディの音使いによってコードの変化を感じさせる
第7回	ガイドトーン	3rdや7thなど、コードの特徴的な音を使い、メロディをつないでいく

クォーター末試験評価方法

授業への取り組み方、及び演奏内容で評価します。連続性のある内容なので、出席も重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードスケール	コードと対応するスケールを確認
第2回	タイムのストレッチ/ダイナミクス	一定のメトロノームに対して、意図的にテンポをずらして演奏する/1つのフレーズの中での音量の変化を分析する
第3回	アーティキュレーション	英語を発音するイメージで、子音をコントロールする
第4回	スケールパターン	4音グループのスケールパターンをつくり、コードにあてはめる
第5回	ローワーストラクチャートライアド	構成音を理解/確認し、アルペジオのトレーニング
第6回	コードトーンによるソロ	コードのインサイドでの演奏を確実にやり、アウトサイドな演奏の土台にする
第7回	モチーフによるソロ	1小節や2小節のモチーフから、ソロを構築する
第8回	モチーフの展開 秋学期のまとめ	様々な展開方法のアイデアを確認/実践する ジャズスタンダードを題材に、秋学期で学んだことを活かした演奏をおこなう

学期末試験評価方法

授業への取り組み方、及び演奏内容で評価します。連続性のある内容なので、出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Gt) I	寺屋ナオ

科目概要

様々なコード進行の上でのメロディの作り方(ソロの取り方)を学びます。1Qはブルース的なメロディの作り方について。2Qはコードトーンを使ったメロディの作り方を学び、コード進行が聞こえてくるようなソロを目指します。

到達目標

1Qはブルージーなメロディのセンスの理解と、それらを様々なキィで演奏出来るの事を目標にしています。2Qはより確実にコード進行を表したソロを弾く事を目標にします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ブルージーなソロアプローチ1	マイナーペンタニックスケールとブルーノートを使ったソロアプローチ1
第2回	ブルージーなソロアプローチ2	マイナーペンタニックスケールとブルーノートを使ったソロアプローチ2
第3回	ブルージーなソロアプローチ3	メジャーペンタニックスケールとブルーノートを使ったソロアプローチ1
第4回	ブルージーなソロアプローチ4	メジャーペンタニックスケールとブルーノートを使ったソロアプローチ2
第5回	ブルージーなソロアプローチ5	メジャー、マイナー、両ペンタニックスケールとブルーノートを使ったソロアプローチ1
第6回	ブルージーなソロアプローチ6	メジャー、マイナー、両ペンタニックスケールとブルーノートを使ったソロアプローチ2
第7回	実技試験	ランダムに選んだキィのブルースでソロをとってもらい評価します。

クォーター末試験評価方法

連続性のある授業なので出席を重視します。実技試験は、ランダムに選んだキィのブルースでソロをとってもらい、授業の理解度を図ります。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードの構成音を使ったソロアプローチ1	Cメジャーキィのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ1
第2回	コードの構成音を使ったソロアプローチ2	Cメジャーキィのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ2
第3回	コードの構成音を使ったソロアプローチ3	Fメジャーキィのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ1
第4回	コードの構成音を使ったソロアプローチ4	Fメジャーキィのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ2
第5回	コードの構成音を使ったソロアプローチ5	Bbメジャーキィのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ1
第6回	コードの構成音を使ったソロアプローチ6	Bbメジャーキィのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ2
第7回	コードの構成音を使ったソロアプローチ7	Ebメジャーキィのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ1。
第8回	実技試験	指定したコード進行上でソロをとってもらい、評価します。

学期末試験評価方法

連続性のある授業なので出席を重視します。実技試験は、幾つかのキィの循環コード上でソロをとってもらい、授業の理解度を図ります。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Gt)Ⅱ	寺屋ナオ

科目概要

様々なコード進行の上でのメロディの作り方(ソロの取り方)を学びます。後期は、ビーバップ的なメロディの作り方を学び、よりコード進行が聞こえてくるようなソロを目指します。

到達目標

3Q代理コードのコードトーンを活用することで、コードのテンションの有効に使ったメロディを作り出すこと、が目標です。4Qはマイナーキーで、メジャーキーと同様な事ができるが目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	代理コードを使ったソロアプローチ1	Key=C上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ1(テンションノートの活用)
第2回	代理コードを使ったソロアプローチ2	Key=C上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ2(テンションノートの活用)
第3回	代理コードを使ったソロアプローチ3	Key=F上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ1(テンションノートの活用)
第4回	代理コードを使ったソロアプローチ4	Key=F上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ2(テンションノートの活用)
第5回	代理コードを使ったソロアプローチ5	Key=Bb上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ1(テンションノートの活用)
第6回	代理コードを使ったソロアプローチ6	Key=Bb上でコードの機能に注目し、代理コードのコードトーンを活用したソロ2(テンションノートの活用)
第7回	実技試験	指定したコード進行でソロをとってもらい、授業の理解度を評価します。

クォーター末試験評価方法

指定したコード進行でソロをとってもらい、その内容が授業に沿っているか、で評価します。前期同様に出席を重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	マイナーキーでのコードトーンソロ1	Cマイナーキーのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ1
第2回	マイナーキーでのコードトーンソロ2	Cマイナーキーのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ2
第3回	マイナーキーでのコードトーンソロ3	Fマイナーキーのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ1
第4回	マイナーキーでのコードトーンソロ4	Fマイナーキーのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ2
第5回	マイナーキーでのコードトーンソロ5	Bbマイナーキーのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ1
第6回	マイナーキーでのコードトーンソロ6	Bbマイナーキーのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ2
第7回	マイナーキーでのコードトーンソロ7	Ebマイナーキーのダイアトニックコードを使ったコード進行上で、コードの構成音(コードトーン)を使ったソロアプローチ1
第8回	実技試験	指定したコード進行でソロをとってもらい、授業の理解度を評価します。

学期末試験評価方法

指定したコード進行でソロをとってもらい、その内容が授業に沿っているか、で評価します。前期同様に出席を重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Key) I	石田衛

科目概要

様々なコードのサウンドとその機能や、それに関連したスケールを紹介します。それらのスケールを使用してコード進行上で即興的にメロディーを作り演奏する方法を学びます。またジャズの基本であるスイングビートについても体感して学びます。

到達目標

シンプルなコード進行を初見で把握し、それにフィットしたメロディーを即興的に創作する能力を身に付ける。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードについて	顔合わせ、授業授業内容の説明
第2回	コードについて	トライトーン(3度と7度)
第3回	コードについて	マイナーセブンとマイナーセブンフラットファイブについて
第4回	コードについて	ダイアトニックについて
第5回	コードについて	ドミナントとサブドミナント
第6回	コードについて	ツーファイブ
第7回	コードについて	

クォーター末試験評価方法

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	様々な7thコードとスケール	オーギュメントとディミニッシュ(Whole half diminished scale)
第2回	様々な7thコードとスケール	裏のコード
第3回	様々な7thコードとスケール	Mixolydian
第4回	様々な7thコードとスケール	Lydian 7th
第5回	様々な7thコードとスケール	Whole tone scale
第6回	様々な7thコードとスケール	Altered scale
第7回	様々な7thコードとスケール	コンディミ(Half whole diminished scale)
第8回	様々な7thコードとスケール	

学期末試験評価方法

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Key)Ⅱ	石田衛

科目概要

様々なコードのサウンドとその機能や、それに関連したスケールを紹介します。それらのスケールを使用してコード進行上で即興的にメロディーを作り演奏する方法を学びます。またジャズの基本であるスイングビートについても体感して学びます。

到達目標

シンプルなコード進行を初見で把握し、それにフィットしたメロディーを即興的に創作する能力を身に付ける。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	様々なスケールと分数コード	教会旋法
第2回	様々なスケールと分数コード	Harmonic minor scaleとMelodic minor scale
第3回	様々なスケールと分数コード	sus4
第4回	様々なスケールと分数コード	Major augument とMinor7 flat 5の9th問題
第5回	様々なスケールと分数コード	分数コード 1
第6回	様々なスケールと分数コード	分数コード 2
第7回		

クォーター末試験評価方法

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	インプロヴァイズの実践	ストレイト8th とスイングビート
第2回	インプロヴァイズの実践	3連符
第3回	インプロヴァイズの実践	ブルーノートスケール
第4回	インプロヴァイズの実践	コード進行上でのアプローチ 1
第5回	インプロヴァイズの実践	コード進行上でのアプローチ 2
第6回	インプロヴァイズの実践	コード進行上でのアプローチ 3
第7回	インプロヴァイズの実践	コード進行上でのアプローチ 4
第8回	インプロヴァイズの実践	

学期末試験評価方法

授業内容の理解、取り組み方で評価します。また、連続性のある内容なので出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(B) I	山本裕之

科目概要

ジャズ・スタンダードを題材に、walking bass、Bass lineの作り方を学びます。  
前半は12小節Bluesの様々なコード進行、Minor Blues、4度進行の曲(Autumn leaves等)を題材に様々なアプローチを学びます。

到達目標

題材にしたジャズ・スタンダードを実際に演奏して、ルート音、コードトーン、ダイアトニックノート、アプローチノートを使ったBass lineや、裏コードを想定したBass line、walking bassの組み立て方をインプットする事を目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	12小節Blues walking bass 1	12小節Bluesを題材に、ルート音～コードトーンでwalking bassの組み立て方を学びます。
第2回	12小節Blues walking bass 2	Bluesを題材に、ダイアトニック～アプローチノートでwalking bassの組み立て方を学びます。
第3回	12小節Blues walking bass 実演	コードトーン、ダイアトニック、アプローチノートを使ってwalking bassを実際に演奏します。
第4回	Blues様々なコード進行 Minor Blues	セカンダリードミナントや、ターンアラウンドが発生したBluesや、Blues for alice等
第5回	様々なコード進行のBlues 実演	12小節Bluesで学んだwalking bassを実際に演奏して、アウトプットしていきます。
第6回	Blues 様々なkey	12小節Bluesを様々なKey(F.B b .C.E b 等)で分析、セッションして理解を深めます。
第7回	試験 Blues 実演	様々なバリエーション、アプローチでスムーズにBass lineが作れることを評価のポイントとします。

クォーター末試験評価方法

演奏内容(12小節Bluesを題材に、コードトーン、ダイアトニック、アプローチノート等、様々なバリエーションのwalking bassを実際の演奏でアウトプットできること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	4度進行 Autumn leaves	4度進行の曲を題材にコードトーン～ダイアトニックノートを使用し2beat,walking bassの組み立て方を学びます。
第2回	4度進行 Autumn leaves 2	アプローチノート～裏コード・ドミナントモーションを想定したwalking bassの組み立て方を学びます。
第3回	4度進行 Autumn leaves 実演	第1回、第2回で学んだwalking bassを実際に演奏して、アウトプットしていきます。
第4回	4度進行 Fly me to the moon	コードトーン、ダイアトニックノート、アプローチノートを使ったwalking bassの組み立て方を学びます。
第5回	4度進行 様々なkey	4度進行(Autumn leaves等)の曲を題材に様々なKeyで分析、セッションして理解を深めます。
第6回	4度進行 All the things you are	All the things you areを題材にwalking bassの組み立て方を学びます。
第7回	4度進行 All the things you are 2	第6回で学んだwalking bassを実際に演奏して、アウトプットしていきます。
第8回	試験 4度進行 実演	様々なバリエーション、アプローチでスムーズにBass lineが作れることを評価のポイントとします。

学期末試験評価方法

演奏内容(4度進行の曲を題材に、コードトーン、ダイアトニック、アプローチノート等、様々なバリエーションのwalking bassを実際の演奏でアウトプットできること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(B) II	山本裕之

科目概要

ジャズ・スタンダードを題材に、walking bass、Bass lineの作り方を学びます。  
Rhythm change、2拍ずつ変わるchange(Confirmation等)でのwalking bassや、各ジャンルのBass lineを学びます。

到達目標

題材にしたジャズ・スタンダードを実際に演奏して、コードトーン、ダイアトニックノート、アプローチノートを使ったwalking bassの組み立て方や、各ジャンルのグルーヴ・スタイルを理解する事を目標とします。また即興力を身に付ける事を目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Rhythm change(循環コード)	Rhythm change(循環コード)を題材にwalking bassの組み立て方を学びます。
第2回	Rhythm change(循環コード) 2	第1回で学んだwalking bassを実際に演奏して、アウトプットしていきます。
第3回	デミニッツェ	Easy living、It could happen to youを題材に、パッシングデミニッツェの意味を学びます。
第4回	3拍子(Someday my prince will come)	3拍子(Someday my prince will come)でのwalking bassの組み立て方を学びます。
第5回	長く同じコードが続く曲	Bye bye blackbird、Caravanを題材に同じコードが続く場合のwalkingの組み立て方を学びます。
第6回	2拍ずつ変わるコード Confirmation 2	2拍ずつ変わるコードチェンジ(Confirmation等)でのwalking bassの組み立て方を学びます。
第7回	試験 3クォーターで取り上げた曲 実演	3クォーターで取り上げた曲を題材に様々なBass lineが作れることを評価のポイントとします。

クォーター末試験評価方法

演奏内容(3クォーターで取り上げた曲を題材に、コードトーン、ダイアトニック、アプローチノート等、様々なバリエーションのwalking bassを実際の演奏でアウトプットできること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Brazilianの基礎 Bossa Nova	イパネマの娘を題材にBossa Novaのリズムパターン、Bass lineを学びます。
第2回	Brazilianの基礎 Samba	One Note Sambaを題材にSambaのリズムパターン、Bass lineを学びます。
第3回	Brazilianの基礎 Partido Alto	Partido Altoを題材にPartido Altoのリズムパターン、Bass lineを学びます。
第4回	Salsa	アフロ・キューバン・スタイルのBass lineを、コード進行のある中で応用できるよう学びます。
第5回	Jazz Afro	ジャズにおけるラテン(Night in Tunisia)でのリズムパターン、Bass lineを学びます。
第6回	Funk 16Baet	ジャコ・パストリアス・スタイルのFunk 16Baetを、コード進行のある中で応用できるよう学びます。
第7回	Soul bounce 16Baet	ジェームス・ジェマーソンやウィリー・ウィークスのスタイルでbounce 16Baetを学びます。
第8回	試験 4クォーターで取り上げた曲 実演	4クォーターで取り上げた曲を題材に、各スタイルのBass lineが作れることを評価のポイントとします。

学期末試験評価方法

演奏内容(各ジャンルのグルーヴ・スタイルを理解し、様々なバリエーションでスムーズにBass lineを組み立てること。またセッションに対応する即興力がある事。)及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション(Ds) I	大井澄東

科目概要

ヨーロッパのクラシックとアフリカのリズムが融合して生まれた現代のポップスをドラムセットでの演奏法という角度から学ぶ科目です。前期はSwingを中心としたJazzの演奏法を学びます。基本から応用まで受講者のレベルに合わせて進めていきます。

到達目標

Jazzの演奏法を一通り体験します。しっかり身に着けるには時間がかかるので、予習復習を欠かさず行いましょう。最大の目標はジャズに親しみ好きになる事です。好きになる事が最も効果的な上達法ですから。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Swingの基礎	タイムキープ レガート、フェザリング、ハイハットの踏み方
第2回	Swingの基礎	コンピングの基礎 奇数拍裏と偶数拍裏
第3回	Swingの基礎	2 Feel セカンドラインとの関係、ハイハットのコントロール
第4回	Swingの基礎	シンコペーション1 Bop Drummingの基礎、4裏/1裏/4拍表
第5回	Swingの基礎	ソロリード Philly"Joe"Jonesスタイル、コピーを中心に
第6回	Swingの基礎	バラード 「8の字」、内回し、外回し
第7回	Swingの基礎	ブラシによるタイムキープ コンピングの仕方

クォーター末試験評価方法

授業への取り組み方で評価します。  
出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Jazz バリエーション	シンコペーション2 キメの処理
第2回	Jazz バリエーション	Mid-Fast/Fast Swing 3連かイーブンか
第3回	Jazz バリエーション	Jazz Bossa Jazz Rock
第4回	Jazz バリエーション	Jazz Afro Jazz Rumba
第5回	Jazz バリエーション	コンテンポラリーなアプローチ1 ポリリズム
第6回	Jazz バリエーション	コンテンポラリーなアプローチ2 クロスリズム
第7回	Jazz バリエーション	ドラムソロ
第8回	テスト 課題曲の演奏	実技試験

学期末試験評価方法

試験・授業への取り組み方で評価します。  
出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。



ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション(Ds) II	大井澄東

科目概要

ヨーロッパのクラシックとアフリカのリズムが融合して生まれた現代のポップスをドラムセットでの演奏法という角度から学ぶ科目です。後期はGrooveというものの考え方に始まりBrazilianとAfro-CubanというLatinの2大ジャンルを勉強します。基本から応用まで受講者のレベルに合わせて進めていきます。

到達目標

Latinの演奏法を一通り体験します。しっかり身に着けるには時間がかかるので、予習復習を欠かさず行いましょう。Latinは「正しいパターン」の理解が重要なので、一つ一つ確実に身に付けていきましょう。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Groove	Groove基礎
第2回	Groove	16th Feel
第3回	Groove	Shuffle
第4回	Groove	Bouce 16th
第5回	Brazilian	Brazilian 入門
第6回	Brazilian	Samba
第7回	Brazilian	Prtido Alto

クォーター末試験評価方法

授業への取り組み方で評価します。  
出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Brazilian	Baiao
第2回	Brazilian	MPB
第3回	Afro-Cuban	2-3/3-2 Son/Rumba
第4回	Afro-Cuban	クラーベ・カスカラ・コンガ・タウンバオ
第5回	Afro-Cuban	Songo
第6回	Afro-Cuban	Bembe
第7回	Afro-Cuban	Afro-Cubanまとめ
第8回	テスト	実技試験

学期末試験評価方法

試験・授業への取り組み方で評価します。  
出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	スタイルアンサンブル I	熱田公紀

科目概要

アレンジされた譜面を通して、正確な読譜力を養い、ソリ、トゥッティ、アドリブ等のラージアンサンブルの特徴を余すことなく、学習します。ジャンルもポップス、ロック、R&B、ジャズ、ラテンと幅広く取り上げ、それぞれのスタイルを身に付けていきます。

到達目標

楽曲の最後までしっかり練習し、完成度を高めます。フレーズのアーティキュレーションはもちろんのこと、グルーブ感がしっかり表現できているかを目標にします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Bb City	16ビートシャッフルの16分音符のはね方。F7-発でのアドリブへの考察。
第2回	Avance	変拍子の経験。モダンアレンジの学習。
第3回	Cotton Tail	Fast Swing。循環コードでのアドリブへの考察。
第4回	O Pato	ボーカルとのコラボレーション。ボサノバの体験。
第5回	Eternal Child	サンバの体験。オンコードでのアドリブへの考察。
第6回	通しリハーサル	セットリスト／ソロ・オーダー／MCの確認。
第7回	試験	他のクラスとの合同発表会。

クォーター末試験評価方法

演奏内容はもちろんのこと、ライブステージを意識したステージング、MCも評価の対象となります。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Liberty City	Funk(Swing)のグルーブの理解。本セクションのアカペラソリ。
第2回	Change of mind	ジャズワルツの学習。グルーブの研究。
第3回	Freedomland	Funk(はねない16分音符)の把握。モダンアレンジの学習。
第4回	Continumm ~ Tean Town	バラードとファンクをメドレーで。アレンジへの考察。
第5回	The Peacocks	ジャズバラードの学習。グルーブをどう出すか。
第6回	Midnight Mambo	サルサスタイルの学習。ビッグバンドの体験。
第7回	通しリハーサル	セットリスト／ソロ・オーダー／MCの確認。
第8回	試験	他のクラスとの合同発表会。

学期末試験評価方法

演奏内容はもちろんのこと、ライブステージを意識したステージング、MCも評価の対象となります。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	スタイルアンサンブルⅡ	熱田公紀

科目概要

後期では、さらに難解な楽曲を取り上げ技術の向上、音楽性の飛躍を目指します。読譜力のさらなる理解と楽曲の高い完成度を目標にします。

到達目標

様々なジャンルの楽曲をよく把握し、アドリブを含めプロレベルの演奏を目指して授業を進めていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Yolanda You Learn	ロックテイストの経験。疾走する8ビート。
第2回	Don't you worry about a thing	ボーカルとのコラボレーション。R&Bの体験。
第3回	Things ain't what they used to be	ミディアムスウィング。ブルースフォームの把握。
第4回	New Rochelle	16ビートシャッフルのグループ。本セクションのソリ。
第5回	(Used) be a Cha - Cha	ファンク。細かいリフの正確な把握。
第6回	通しリハーサル	セットリスト／ソロ・オーダー／MCの確認。
第7回	試験	他のクラスとの合同発表会。

クォーター末試験評価方法

演奏内容はもちろんのこと、ライブステージを意識したステージング、MCも評価の対象となります。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Bud Powell	ミディアムスウィングの体験。5本のサックスのソリの研究。
第2回	James	ソフト8ビート。メロディの歌わせ方への考察。
第3回	River Waltz	3/4。8分音符がはねないワルツの体験。
第4回	Volcano for hier	疾走する16ビートの体験。グループをどう出すか。
第5回	Third Wind	サンバ3連シャッフル。構成を理解して大曲に挑む。
第6回	Esher's Sketch	混合拍子の学習。モダンアレンジへの理解。
第7回	通しリハーサル	セットリスト／ソロ・オーダー／MCの確認。
第8回	試験	他のクラスとの合同発表会。

学期末試験評価方法

演奏内容はもちろんのこと、ライブステージを意識したステージング、MCも評価の対象となります。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	スタイルアンサンブル I	笠原 康弘

科目概要

学生の希望する楽曲を編成に合わせてアレンジし、アンサンブルを完成させていく授業です。以下の授業計画は昨年度の例です。

到達目標

簡単そうな曲でも突き詰めると奥深いものがあります。完全コピーして間違えないというのは最初の段階。チームプレイ、インタープレイ、アドリブの持って行き方、エンターテインメント性、オリジナリティー、バンド内の頼れる人物になれるかなど、色んな要素を知ってもらえれば、と思います。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Shirokuma	アンサンブルに慣れる。
第2回	RED BARON	キューの出し方など
第3回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	アベイラブルノートスケールや使用方法など
第4回	Slaphappy	ファンクの理解
第5回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロやアウトロの付け方
第6回	Trains	ダイナミクスを出して単調さからの脱却
第7回	試験	授業内ライブ

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Someday my prince will come	ポリリズムに慣れる。
第2回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	スケール、アドリブについて
第3回	Speed of Love	キメを合わせる練習、主張するソロの作り方など
第4回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	アレンジによって変化を出す方法
第5回	Cissy Strut	スケールチェンジするアドリブ
第6回	Logical monk	エンターテインメントを考える
第7回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロやアウトロの付け方
第8回	試験	授業内ライブ

学期末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	スタイルアンサンブルⅡ	笠原 康弘

科目概要

学生の希望する楽曲を編成に合わせてアレンジし、アンサンブルを完成させていく授業です。以下の授業計画は昨年度の例です。

到達目標

簡単そうな曲でも突き詰めると奥深いものがあります。完全コピーして間違えないというのは最初の段階。チームプレイ、インタープレイ、アドリブの持って行き方、エンターテインメント性、オリジナリティー、バンド内の頼れる人物になれるかなど、色んな要素を知ってもらえれば、と思います。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	つつみこむように	ヴォーカルとのアンサンブルに慣れる。
第2回	Keyshia Cole - Love	バラードのバックিং
第3回	オリジナル楽曲	複雑なリズムに対応する
第4回	Tamashii	グルーブを付ける。
第5回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロ、アウトロを付ける
第6回	全曲の合わせと調整	合わせと調整
第7回	試験	授業内ライブ

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	灯台	他のプレイヤーを良く聞いてインタープレイする
第2回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロ、アウトロを付ける
第3回	君じゃなきやダメみたい	コーラスもとってみよう。
第4回	Ain't No Other Man	コーラスもとってみよう。楽しんで演奏
第5回	スケール・理論・アレンジ・サイズ調整・イントロ・アウトロなど	イントロ、アウトロを付ける
第6回	全曲の合わせと調整	1年間の総まとめ
第7回	全曲の合わせと調整	1年間の総まとめ
第8回	試験	授業内ライブ

学期末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	スタイルアンサンブル I	菅原潤子

科目概要

様々な楽曲に取り組む中で、アンサンブル力を養っていきます。  
1年間を通し、バンドとしても成長していきましょう。  
※楽器の編成で楽曲は都度変更の可能性あり。

到達目標

アンサンブル試験において、ライブステージを意識したステージング、MC等が出来るようになりましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	自己紹介 授業内容の説明
第2回	Them Change	Them Change
第3回	Get Up (I Feel Like Being a) Sex Machine	Get Up (I Feel Like Being a) Sex Machine
第4回	Pick Up The Pieces	Pick Up The Pieces
第5回	試験に向けて	試験に向けて流れを作っていきます MC等
第6回	通しリハーサル	通しリハーサル
第7回	試験	アンサンブル試験(ライブ形式)

クォーター末試験評価方法

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC等。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	1クォーター試験の反省会
第2回	Starting Too Slow	Starting Too Slow
第3回	September	September
第4回	Thank You (Falettinme Be Mice Elf Agin)	Thank You (Falettinme Be Mice Elf Agin)
第5回	試験に向けて	試験に向けて流れを作っていきます MC等
第6回	通しリハーサル	通しリハーサル
第7回	通しリハーサル	通しリハーサル
第8回	試験	アンサンブル試験(ライブ形式)

学期末試験評価方法

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC等。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	スタイルアンサンブルⅡ	菅原潤子

科目概要

様々な楽曲に取り組む中で、アンサンブル力を養っていきます。  
1年間を通し、バンドとしても成長していきましょう。  
※楽器の編成で楽曲は都度変更の可能性あり。

到達目標

アンサンブル試験において、ライブステージを意識したステージング、MC等が出来るようになりましょう。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	2クォーター試験の反省会
第2回	Jungle Boogie	Jungle Boogie
第3回	Hideaway	Hideaway
第4回	A Natural Woman	A Natural Woman
第5回	試験に向けて	試験に向けて流れを作っていきます MC等
第6回	通しリハーサル	通しリハーサル
第7回	試験	アンサンブル試験(ライブ形式)

クォーター末試験評価方法

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC等。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業内容の説明	3クォーター試験の反省会
第2回	Move Over	Move Over
第3回	Purple Rain	Purple Rain
第4回	Soul Power	Soul Power
第5回	試験に向けて	試験に向けて流れを作っていきます MC等
第6回	通しリハーサル	通しリハーサル
第7回	通しリハーサル	通しリハーサル
第8回	試験	アンサンブル試験(ライブ形式)

学期末試験評価方法

授業の出席率、自主性、協調性。試験では、ライブステージを意識したステージング、MC等。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	スタイルアンサンブル I	遠山拓志

科目概要

スタンダード曲をはじめとした、様々なジャンルの楽曲にチャレンジします。  
リズムアレンジや、コードアレンジ等を加えてクォータ毎にライブ形式で発表していきます。  
メンバー同士でしっかりコミュニケーションをとり、アイデアを出し合ってください。  
※下記の曲は過去の例です。

到達目標

演奏可能曲を増やせるよう、個人技術の向上、アンサンブル力の向上を目指します。  
MCを含めた総合的なステージングが作れるようにしましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	顔合わせ、授業内容の説明、Bluesを演奏してみる。
第2回	Now's the time	セッションに慣れる
第3回	Watermelonman	まずは、マイナーペンタ発でソロをとってみる
第4回	Feel like makin'love	ミディアムテンポのしっとり曲
第5回	Feel like makin'love	コードやリズムを変えて遊んでみる
第6回	Fly me to the moon	コードアナライズをしっかりと。イントロやエンディングを作ってみる
第7回	試験	1クォーターで練習した3～4曲をライブ形式で発表

クォーター末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等積極的に取り組んでいるか等で判断します

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	1クォーター試験のおさらい及び反省点の確認
第2回	枯葉	swingの理解、裏タンギングやアクセント、音の飲み方
第3回	枯葉	Funkのリズムで軽快に演奏してみる イントロ、エンディングを工夫してみる
第4回	the Chicken	Funkスタンダードの理解。ex.Dのみで構成された曲の効果的な演奏法
第5回	the Chicken	ブルースペンタとミクソリディアン、どちらがカッコイイか
第6回	Close to you	洋楽歌謡のアレンジおよびリアレンジ
第7回	Kid Jordan's 2nd line	2nd lineをあえて8ビートでロック風に
第8回	試験2	2クォーターで練習した3～4曲をライブ形式で発表

学期末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等積極的に取り組んでいるか等で判断します



ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	スタイルアンサンブルⅡ	遠山拓志

科目概要

前期より少し曲の難易度を上げていきます。  
できるだけ学生の皆さんの希望曲を取り上げて、アイデアを出し合っていきましょう。

到達目標

人前で演奏するということの理解。また、自覚を持って演奏できるようにする。  
メンバー同士のコミュニケーションがしっかりととれ、演奏に表せるようにする。  
アレンジやステージングでのアイデアを出せるようにする。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	2クォータ試験のおさらい及び反省点の確認
第2回	One more Once	CHA CHA CHAの理解、ラテンのリズム
第3回	Tp' Especial	トウンバオ、2-3の仕組み
第4回	Strasbourg	ハネ系リズムのノリ
第5回	Last Christmas	季節柄、こんなカバー曲も
第6回	Mornin	swingで始まり、16ビートでノリノリなアレンジにしてみよう
第7回	試験3	3クォータで練習した3~4曲をライブ形式で発表

クォーター末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等  
積極的に取り組んでいるか等で判断します

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	3クォータ試験のおさらい及び反省点の確認
第2回	someday my prince will come	3拍子の理解
第3回	all blues	6/8のグループの理解
第4回	Got to be Real	Disco Funk を Cha Chalに?それともメタルに? アレンジを工夫してみる
第5回	Wind Machine	速い曲は音符を全部演奏しようとするしない
第6回	Joy Spring	複雑なコードチェンジにチャレンジ
第7回	all the things you are	勢いよくラテンアレンジで演奏してみる
第8回	試験4	4クォータで練習した3~4曲をライブ形式で発表

学期末試験評価方法

出席率、向上心、授業態度、課題の消化率等  
積極的に取り組んでいるか等で判断します

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	スタイルアンサンブル I	宮崎明生

科目概要

色々なジャンル・スタイルの楽曲を演奏する事を通して、アンサンブルの基礎を学びます。様々なスタイルに合ったプレイスタイル、テクニックを学び、アドリブプレイに必要なジャズポピュラー理論や、実際使うフレーズ集も含め学習して行きます。

到達目標

年間4回、各クォーター末のアンサンブル試験に向けて、パフォーマンス含めてミニライブステージをやって行きます。見る者を引き付ける演奏技術、テンポ良いステージMC、一糸乱れぬアンサンブルを目指し、ダイナミクスに富んだ「魅せる」ステージングを全員で目指します！暗譜推奨です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己紹介 自分のセルフ・プロデュース I Can't Turn You Looseの演奏	一年間一緒に音楽を作り上げる仲間へ、自分を知って貰い、興味を抱いて貰えるようセルフ・プロデュース兼ねて自己紹介しよう。
第2回	I Can't Turn You Loose Get Away	8beatの基礎、16th Funk beatの基礎。それぞれのセクションに必要な演奏技術を学ぶ。
第3回	Drive Timeとこれまでの2曲	16th Funk beat。キレの良いリズムの合わせ方。グループ、息の合わせ方。勢いの有るアドリブ演奏の方法。
第4回	My Mama Told Me So Samba Do Marcos	Funk Beat。粘りの有るメロディーの歌い方、ファンキーなアドリブ。Fusion Sambaのグループ。アドリブ講座。
第5回	You Make Me Feel Brand New	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

クォーター末試験評価方法

毎回の授業での取り組み方、各楽曲に対する完成度をチェックします。演奏技術の他、アドリブ演奏に不可欠なポピュラージャズ理論も含めて学びます。最終的にクォーター末試験に向け、チーム一丸となって総合パフォーマンス力がアップしているかチェックします。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験ライブ映像検証 Rio funk	ライブ映像見ながら全員でディスカッションします。王道Fusionサウンドを極めます。16th beat Fusion
第2回	Copernicus Sister Sadie	高速なグループをこなす。キメセクションの多い曲の演奏。
第3回	Carnaval Room335	Samba Feel。細かく難解なパッセージへの取り組み。王道Fusion曲のリアレンジ。
第4回	Theme from Rocky	パワー全開での演奏とアドリブのリレー。
第5回	You Are Everything	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	各楽曲の詰め、暗譜対策	実際譜面なしで通せるかチェックする。弱いセクション、上手く行かないポイントを見極め、その対策をする。
第8回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

学期末試験評価方法

二度目の試験ライブなので、初回気付かなかった演奏上の注意ポイントをクリアして行きます。全員とのアイコンタクトがしっかり出来ているかチェックします。(その為暗譜推奨です！) 勢いの有るステージングを目指します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	スタイルアンサンブルⅡ	宮崎明生

科目概要

人前で演奏する事、ステージ上で最大限パフォーマンスする事を極めて行きます。  
 色々なジャンル・スタイルの楽曲を演奏する事を通して、アンサンブルの基礎を学びます。  
 アドリブプレイに必要なジャズポピュラー理論や、実際使うフレーズ集も含め学習して行きます。

到達目標

見る者を引き付ける演奏技術、テンポ良いステージMC、一糸乱れぬアンサンブルを目指し、ダイナミクスに富んだ「魅せる」ステージングを全員で目指します！  
 可能な限り暗譜で臨みましょう！

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験ライブ映像検証 Bob's jazz	ライブ映像見ながら全員でディスカッションします。 勢いの有るセクションプレイとアドリブ演奏。
第2回	Bob's jazz	勢いの有るセクションプレイとアドリブ演奏。
第3回	Garden Party	展開の多い曲での場面に合ったアンサンブルの構築
第4回	My Little Brother	グループチェンジ。勢いの有るセクションプレイとアドリブ演奏。
第5回	雪の華	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。 細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

クォーター末試験評価方法

試験ライブにも慣れて来たと思われるので、更にバンドとしての特徴を際立たせるポイントをディスカッションし、そこを前面に出し「魅せるステージング」を目指します。  
 暗譜推奨！全員がアイコンタクト取ってプレイ出来るよう努力しましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験ライブ映像検証 Sined sealed delivered I'm yours	ライブ映像見ながら全員でディスカッションします。
第2回	Starburst	勢いの有るセクションプレイとアドリブ演奏。
第3回	Every step of your way	ダイナミクスビルドアップ、16th beatのセクションプレイ。
第4回	I need to be in love	スローバラードの歌い方。スローテンポでの8beat→16th beatへのグループチェンジ、ダイナミクスビルドアップ。
第5回	Why Not	難解なセクションプレイ、全員のユニゾン。
第6回	各楽曲の詰め、アドリブ対策	試験ライブに向け、楽曲の決定、ソロオーダー、MCの選出。 細かい段取りを決め、一度通してみる。
第7回	各楽曲の詰め、暗譜対策	実際譜面なしで通せるかチェックする。弱いセクション、上手く行かないポイントを見極め、その対策をする。
第8回	試験ライブに向けて通しリハーサル	試験ライブに向け、2度の通しリハ。上手く行かなかったポイントをピックアップ。最終通しでモチベーションアップしましょう！

学期末試験評価方法

1年間の集大成と言える最終クォーターの試験ライブに向けて、これまでで一番のパフォーマンスが出来る様、しっかりと何度もリハーサルをします。アドリブソロに向けて各自が理論を把握し、アナライズ・コードスケールの把握をしっかり出来ているかチェックします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセッション I	須田晶子

科目概要

アンサンブルの基礎をじっくり研究していくクラスです。ベーシックなリズム、ビート、メロディ、コード、構成、他の楽器と演奏するとどのようなことが変わってくるのか、アンサンブルで大切なことを見つけていきます。  
※曲は変更になる場合があります。

到達目標

それぞれの楽器の技術向上はもちろん、アンサンブルをすることで一人で演奏しているときとは違う自分の役割、バランス、自分の音と人の音を聴く習慣、そして一曲の演奏の流れをみんなで作れるようにします。チームワークの大切さを体感します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音出し/バランス	全員で音を出した時の音量バランスを確認し、アンサンブルのサウンドに慣れます。C Jam Blues
第2回	Mid Swing /カウント・エンディング	曲が始まり終わるまでの合図などを練習します。 A Train / Autumn Leaves
第3回	Bossa Nova ・ Samba	コーラスが切り替わる時のメリハリにフォーカスします。 So Danco Samba / Fly Me To The Moon
第4回	Latin /リズムの混合	フィールを切り替える練習をします。 St. Thomas / On Green Dolphin Street / Night And Day
第5回	Fast Swing	テンポキープ、速いことで混乱する要素を取り上げていきます。 Oleo / I Got Rhythm / Mr.P.C
第6回	テストに向けての準備	今まで行った曲の中で選曲し、より音楽的になるステージングを考えます。
第7回	テスト / ライブ	クラス内で実際にライブをやる意識を持ちながら決めた楽曲を演奏していただきます。

クォーター末試験評価方法

授業でやったことが発揮されているか、どんな状況でも一緒に演奏してる人との音のバランスや意思疎通ができているか、ライブとして意識したステージができているかを見ます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Waltz・ 6/8	リズムに慣れる練習をします。 Someday My Prince Will Come / All Blues / Foot Prints
第2回	Ballad	SwingとStraightの違いと共に練習します。 Body And Soul / Moon River
第3回	Funk/Soul	キメもある楽曲が多いので色々な要素の練習をします。 The Chicken / Feel Like Making Love
第4回	キメのある曲	ストップタイム、ブレイク、リフ、などに対応する練習です。 Speak Low / Lullaby Of Birdland
第5回	キメのある曲	One Note Samba / Rhythm-a-Ning / Straighten Up & Fly Right
第6回	編成の変化や曲の構成で遊ぶ	色々な楽器編成のパターンで演奏してどのような変化が自分の演奏に起こるのかをより深く研究します。
第7回	テストに向けての準備	今まで行った曲の中で選曲し、より音楽的になるステージングを考えます。
第8回	テスト / ライブ	クラス内で実際にライブをやる意識を持ちながら決めた楽曲を演奏していただきます。

学期末試験評価方法

授業でやったことが発揮されているか、どんな状況でも一緒に演奏してる人との音のバランスや意思疎通ができているか、ライブとして意識したステージができているかを見ます。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセッションⅡ	須田晶子

科目概要

秋期では少し難易度を上げた曲に挑戦します。アンサンブルの技術、ステージングを意識した内容、セットリストを効果的に演奏する方法にも取り組んでいきます。それぞれがアイデアを出して想像力を高めチャレンジします。  
※曲は変更になる場合があります。

到達目標

色んな曲を経験することで瞬時に対応できるようにし、完成度のより高い演奏ができるようにします。そしてあらゆるバランスを学びながらも自分のキャラクターや嗜好は何かを見つけ出せるようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Blues	メロディをとる楽器のリズム、リズム隊が出すグルーブを研究します。Georgia On My Mind
第2回	ラフアレンジ	その場でアイデアを出し合いラフアレンジをしていく練習です。Summer Time / Stella By Starlight / Over The Rainbow
第3回	選曲	皆さんがそれぞれ好きなジャズナンバー、もしくはジャズに関係しているサウンドの曲を選んで演奏してみます。
第4回	選曲	ピックアップした曲を練習します。自分の好きな事、得意な事苦手な事を明確にできるようにします。
第5回	Rubato	Rubatoを練習します。 There Will Never Be Another You / All The Things You Are
第6回	テストに向けての準備	今まで行った曲の中で選曲し、より音楽的になるステージングを考えます。
第7回	テスト / ライブ	クラス内で実際にライブをやる意識を持ちながら決めた楽興を演奏していただきます。

クォーター末試験評価方法

授業でやったことが発揮されているか、どんな状況でも一緒に演奏してる人との音のバランスや意思疎通ができていないか、苦手な事に対してそれぞれ少しでも改善しようとしている努力が見られるか、ライブとして意識したステージができていないかを見ます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	トリッキーなリフ	メロディの中にはトリッキーなリフに対しての対応力を身につけます。Interplay / Spain / Night In Tunisia
第2回	Comtemporary Jazz	同じフィールドでもサウンドは何が違うのか、色んな方向から研究します。Country / My Song / Butterfly
第3回	変拍子	変拍子に挑戦です。 Take Five/ Bye Bye Blackbird /Blackbird
第4回	歌伴奏	歌伴奏に必要な事を学び練習します。 Someone To Watch Over Me/ Autumn Leaves
第5回	アレンジ	リフ、構成、編成、リズム、オブリガード、自分ならではのアイデアでできる範囲でアレンジしてもらいます。(事前準備)
第6回	ライブに向けての準備	選曲、演奏の内容を整理しステージングも含めライブの準備をします。
第7回	ライブに向けての準備	選曲、演奏の内容を整理しステージングも含めライブの準備をします。
第8回	試験	クラス外でのライブ、今までの成果とリスナーがいる中での演奏の感覚、ステージングなど体験します。

学期末試験評価方法

授業でやったことが発揮されているか、どんな状況でも一緒に演奏してる人との音のバランスや意思疎通ができていないか、ライブとして意識したステージができていないかを見ます。最後の試験でパッションを感じる音でリスナーを魅了できるステージを目指しましょう！

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセッション I	関谷友貴

科目概要

ジャズのスタンダードナンバーを中心にレパートリーを増やし、アイコンタクトなどセッションに必要な会話を磨きます。

到達目標

セッションでよく演奏する定番のジャズスタンダードを10曲暗譜で演奏出来るようにします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション&セッションマナー	授業の方向性と、一発モノのグルーブセッションでアイコンタクトなどのセッションに必要なマナーを伝えます。
第2回	ジャズブルース	ツーファイブを含めたFやBbのジャズブルースを、Straight No Chaserなどの曲を題材に使用してセッションします。
第3回	リズムチェンジ	A-A-B-Aで構成されているOLEOなどの曲を題材に使用してセッションします。
第4回	8ビート	Watermelon Manなどの8ビートの曲を題材に使用して、スウィングとのビートの違いを感じながらセッションします。
第5回	16ビート	The Chickenなどの16ビートの曲を題材に使用して、8ビートとの違いを感じながらセッションします。
第6回	ボサノヴァ	Blue Bossaなどのボサノヴァの曲を題材に使用して、これまでに演奏した曲とグルーブの違いを感じながらセッションします。
第7回	テスト	これまでに演奏したレパートリーを暗譜で数曲、ライブを意識しながら演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使えているか、アイコンタクトなどセッションに必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	シャッフル	Isn't She Lovelyなどの曲を題材に使用して、3連譜を感じながらセッションします。
第2回	モーダル1	Cantalope Islandなどの曲を題材に使用して、コードに適したスケールを使用してセッションします。
第3回	マイナーブルース	Mr.P.Cなどの曲を題材に使用して、マイナーブルースをセッションします。
第4回	3拍子	Someday Prince Will Comeなどの曲を題材に使用して、3拍子でスウィングを感じながらセッションします。
第5回	モーダル2	So Whatなどの曲を題材に使用して、A-A-B-Aフォームを感じてセッションします。
第6回	夏休み課題確認&復習	夏休み前に出した課題を確認してテストに備えます。
第7回	バラード	Georgia on My Mindなどの曲を題材に使用して、バラードで演奏するときに必要なアイデアを提示しながら、セッションします。
第8回	テスト	これまでに演奏したレパートリーを暗譜で数曲、ライブを意識しながら演奏します。

学期末試験評価方法

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使えているか、アイコンタクトなどセッションに必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセッションⅡ	関谷友貴

科目概要

ジャズのスタンダードナンバーを中心にレパートリーを増やし、アイコンタクトなどセッションに必要な会話を磨きます。

到達目標

セッションでよく演奏する定番のジャズスタンダードを10曲暗譜で演奏出来るようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	グルーブチェンジ	これまでに取り扱った曲を使って、曲をファンクにするなどグルーブを変えてセッションします。
第2回	ファンク	Pick Up The Piecesなどの曲を題材に使って、グルーブを感じながらセッションします。
第3回	ラテンフュージョン	Spainなどの曲を題材に使って、キメをしっかりと合わせつつセッションします。
第4回	ストレート8th	Maiden Voyageなどの曲を題材に使って、ストレート8thをセッションします。
第5回	ヘッドアレンジ	これまで取り扱った曲のテーマ部分にキメやハモリ、リハモなどをしてアレンジします。
第6回	テスト対策	これまで取り扱った曲を復習、暗譜でセッションしテストに備えます。
第7回	テスト	これまでに演奏したレパートリーを暗譜で数曲、ライブを意識しながら演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使えているか、アイコンタクトなどセッションに必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	転調	All The Things You Areなどの曲を題材に使って、曲の中で頻繁に転調されている曲をセッションします。
第2回	ビバップ	Donna Leeなどの曲を題材に使って、難解なテーマをしっかりと演奏してセッションします。
第3回	変拍子	Take Fiveなどの曲を題材に使って、5拍子を感じながらセッションします。
第4回	フィールチェンジ	On Green Dolphin St.などの曲を題材に使って、曲の中で変更されるフィールチェンジをセッションします。
第5回	ユニゾン	Red Baronなどの曲を題材に使って、複雑なテーマをしっかりと演奏してセッションします。
第6回	マルチトニック	Giant Stepsなどの曲を題材に使って、マルチトニックシステムで作曲された曲をセッションします。
第7回	テスト対策	これまで取り扱った曲を復習、暗譜でセッションしテストに備えます。
第8回	テスト	これまでに演奏したレパートリーを暗譜で数曲、ライブを意識しながら演奏します。

学期末試験評価方法

出席率を重視します。コードに対して正しい音が使えているか、アイコンタクトなどセッションに必要なジャズマナーに則った演奏がされているかを評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズ・セッション I	高野正一

科目概要

ジャムセッション力を養う。各ジャンルの代表的な曲をレパートリーにできるように学習、訓練し演奏技術力も上げ即興演奏能力を養う。

到達目標

曲の理解、時代背景、もっともポピュラーなバージョン等曲の知識を学びMC能力を養う。即興演奏力・技術の向上、楽曲の理解、譜面の作成。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	セッションとは？	ブルース等で楽曲構成を理解させる。
第2回	セッションに慣れる ウォータメロンマン	・イントロ テーマ アドリブ テーマ エンディング、 ・アイコンタクト
第3回	コンピング ビリーズ・ハウンス	・アドリブ ブルーノートの学習
第4回	ブルース進行の曲	・アドリブ ブルーノートの学習 C・F・B♭キー
第5回	スタンダード曲の演奏 A列車で行こう	・ I Δ7 - II 7 - II m7 - V 7 の楽曲 イパネマの娘
第6回	スタンダード曲の演奏 試験リハーサル	2NDリフの挿入、楽曲の盛り上げ方
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	発表 人前での演奏 心構え、エチケット、マナー

クォーター末試験評価方法

出席50% 取り組み方 試験50%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ボサノバ	2NDリフの挿入、楽曲の盛り上げ方
第2回	ボサノバ マイナーの曲	アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第3回	ボサノバ ブルーボサ	倍テンポ、 アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第4回	サンバ ブルーボサ	・ I m7 - IV m7 ・ II m7 - V 7 のフレーズの学習
第5回	ファンク チキン	・ I 7 - IV 7 - III 7 キメの部分の確認
第6回	8ビート・16ビート	グルーブ感
第7回	スタンダード曲の演奏 試験リハーサル	構成・ソロ順番等の確認
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	発表 人前での演奏 心構え、エチケット、マナー

学期末試験評価方法

出席50% 取り組み方 試験50%



ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズ・セッションⅡ	高野正一

科目概要

ジャムセッション力を養う。各ジャンルの代表的な曲をレパートリーにできるように学習、訓練し演奏技術力も上げ即興演奏能力を養う。

到達目標

曲の理解、時代背景、もっともポピュラーなバージョン等曲の知識を学びMC能力を養う。即興演奏力・技術の向上、楽曲の理解、譜面の作成。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	シャッフル イズント シーラブリー	・アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第2回	シャッフル イズント シーラブリー	・イントロ テーマ アドリブ テーマ エンディング、 ・アイコンタクト
第3回	シャッフル イズント シーラブリー	・アドリブ アベイラブルノートスケールの学習 VIIm7- II7- II m7 V7- I Δ7
第4回	8ビート・16ビート サニー	・アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第5回	8ビート・16ビート サニー	・ I m7- b III7- b VI7- II m7 b 5 V7 の楽曲
第6回	8ビート・16ビート サニー	・楽曲の盛り上げ方
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	発表 人前での演奏 心構え、エチケット、マナー、反省

クォーター末試験評価方法

出席50% 取り組み方 試験50%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	4ビート サテンドール	・アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第2回	4ビート サテンドール	・イントロ テーマ アドリブ 2ndテーマリフ エンディング、
第3回	酒とバラの日々	・アドリブ学習 アベイラブルノートスケール
第4回	酒とバラの日々	・イントロ テーマ アドリブ テーマ エンディング、
第5回	4ビート 枯葉	・平行調 II m7-V7- I Δ7-IVΔ7 II m7 b 5-V7-1 m7
第6回	4ビート コンファメーション	・イントロ テーマ アドリブ 2ndテーマリフ 4バース エンディング、
第7回	スタンダード曲の演奏 試験リハーサル	構成・ソロ順番等の確認
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	発表 人前での演奏 心構え、エチケット、マナー 自己反省

学期末試験評価方法

出席50% 取り組み方 試験50%

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセッション I	寺屋ナオ

科目概要

小編成でのジャズのアンサンブルにおける演奏の仕方を学びます。事前に細かなアレンジを用意することなく、その場で曲を決めて演奏し、音楽の「即興力」や「会話力」を磨きます。曲目は例です。

到達目標

シンプルな楽曲を使って、セッションに慣れるのが1Qの目標です。2Qは様々なリズムスタイルの要素を取り入れるようになるのが目標です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	セッションの基本ルール	Bluesを題材に、セッションの基本的な演奏法を学びます。
第2回	ブルース1	Watermelon manなどを題材に、ブルース楽曲のセッションを練習します。
第3回	ブルース2	Chitlins con Carneなどを題材に、ブルース楽曲のセッションを練習します。
第4回	変則ブルース1	The sidwinderなどを題材に、変則的なサイズのブルース楽曲を練習します。
第5回	変則ブルース2	The chickenなどを題材に、変則的なサイズのブルース楽曲を練習します。
第6回	リハーサル	実技試験に向けてのリハーサルを行います。
第7回	実技試験	他クラスと合同で、ライブ形式の実技試験を行います。

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。出席を出席を60%。リハーサルでの立ち振る舞い、及び実技試験での演奏内容、で残り40%の評価をします。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	様々なリズムスタイルの楽曲1	Back at the chicken shackなどを題材に、シャッフルの楽曲を練習します。
第2回	様々なリズムスタイルの楽曲2	Isn't she lovelyなどを題材に、シャッフルの楽曲を練習します。
第3回	様々なリズムスタイルの楽曲3	Now's the timeなどを題材に、Swingのリズムの楽曲を練習します。
第4回	様々なリズムスタイルの楽曲4	Sugarなどの楽曲を題材に、Swingのリズムの楽曲を練習します。
第5回	様々なリズムスタイルの楽曲5	Blue bossaなどを題材に、ボサノバのリズムの楽曲を練習します。
第6回	様々なリズムスタイルの楽曲6	オルフェのサンバなどを題材に、サンバのリズムの楽曲を練習します。
第7回	リハーサル	実技試験に向けてのリハーサルを行います。
第8回	実技試験	他クラスと合同で、ライブ形式の実技試験を行います。

学期末試験評価方法

出席を重視します。出席を出席を60%。リハーサルでの立ち振る舞い、及び実技試験での演奏内容、で残り40%の評価をします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセッションⅡ	寺屋ナオ

科目概要

小編成でのジャズのアンサンブルにおける演奏の仕方を学びます。事前に細かなアレンジを用意することなく、その場で曲を決めて演奏し、音楽の「即興力」や「会話力」を磨きます。曲目は例です。

到達目標

3Qはスタンダードソングで、イントロやエンディングなどを含めてスムーズにセッションできるようになる事が目標です。4Qは、より難易度の高い曲をセッションできるようになる事が目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	スタンダード1	I'll close my eyesなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
第2回	スタンダード2	It could happen to youなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
第3回	スタンダード3	Alone togetherなどの楽曲を題材に、スタンダード曲のセッションを練習します。
第4回	イントロとエンディング1	スタンダード曲のイントロやエンディングなどの技法を練習します。
第5回	イントロとエンディング2	スタンダード曲のイントロやエンディングなどの技法を練習します。
第6回	リハーサル	実技試験に向けてリハーサルを行います。
第7回	実技試験	他クラスと合同で、ライブ形式での実技試験を実施します。

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。出席を出席を60%。リハーサルでの立ち振る舞い、及び実技試験での演奏内容、で残り40%の評価をします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Bebop1	Confirmationなどの楽曲を題材に、Bebop楽曲のセッションを練習します。
第2回	Bebop2	Donna leeなどの楽曲を題材に、Bebop楽曲のセッションを練習します。
第3回	Cool Jazz	Israelなどの楽曲を題材に、Modan Jazz楽曲のセッションを練習します。
第4回	Mode Jazz	So whatなどの楽曲を題材に、Mode Jazz楽曲のセッションを練習します。
第5回	Jazz funk	Strasbourg saint denisなどの楽曲を題材に、Jazz funk楽曲のセッションを練習します。
第6回	Hard bop	Nica's dreamなどの楽曲を題材に、Hard bop楽曲のセッションを練習します。
第7回	リハーサル	実技試験に向けてリハーサルを行います。
第8回	実技試験	他クラスと合同で、ライブ形式の実技試験を実施します。

学期末試験評価方法

出席を重視します。出席を出席を60%。リハーサルでの立ち振る舞い、及び実技試験での演奏内容、で残り40%の評価をします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセッション I	藤本暁子

科目概要

ジャズのスタンダードを中心に、クラス全員でセッションをします。その場でどんどんアンサンブルを創り上げていく上で、どういう言葉や作法や技術が必要なのかを、実践しながら学んでいきます。

到達目標

一人一人が自分の楽器に向き合い、責任を持ち、全員で一つの音楽を創ることができているかどうか。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第2回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第3回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第4回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第5回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第6回	Swingのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第7回	試験	クラス全員で発表する。

クォーター末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第2回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第3回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第4回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第5回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第6回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第7回	Swing & Bossa Novaのリズムにチャレンジ	クラス全員でセッションする。
第8回	試験	クラス全員で発表する。

学期末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセッションⅡ	藤本暁子

科目概要

ジャズのスタンダードを中心に、クラス全員でセッションをします。その場でどんどんアンサンブルを創り上げていく上で、どういう言葉や作法や技術が必要なのかを、実践しながら学んでいきます。

到達目標

一人一人が自分の楽器に向き合い、責任を持ち、全員で一つの音楽を創ることができているかどうか。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第2回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第3回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第4回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第5回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第6回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第7回	試験	クラス全員で発表する。

クォーター末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第2回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第3回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第4回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第5回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第6回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第7回	自主的に曲を出し合う	クラス全員でセッションする。
第8回	試験	クラス全員で発表する。

学期末試験評価方法

「アンサンブル」という団体競技と「ソロ」という個人競技、両方共がバランスよく発揮できているかどうか。加えて、毎回の授業への取り組み方でも評価します。出席・遅刻も大いに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセッション I	松永加津子

科目概要

3～4リズムと管楽器で、いつでもどこに行っても、すぐに誰とでもジャムセッションができるように、いろいろなスタンダードナンバーを知り、テーマをしっかりと演奏出来て、アドリブも取れるようになるための授業です。

到達目標

はじめに、Toneをしっかりとさせる練習をします。管楽器はロングトーン、リズムは一つ一つの音をしっかりと出す練習を繰り返していきます。曲はまずブルース。いろいろなキーで、いろいろなビートで、ブルース形式の曲を覚えましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	発音練習とブルース。	授業の最初に、必ずブルースでロングトーンとリズム練習をします。ブルースに慣れていきます。
第2回	ブルース形式の曲とは	ブルースのコード進行を覚えてしまいましょう。ほとんどのブルースはコード進行は同じです。
第3回	いろいろなキーのブルース	C、F、B♭キーのブルースのコード進行は暗譜しましょう。8分音符の練習もします。
第4回	いろいろなビートのブルース	スウィングの他に、シャッフルやスロービーとなりのブルースにもチャレンジ。
第5回	スタンダードナンバーとブルース	同じキーでも、たくさんのスタンダードナンバーとしてのブルースがあります。いろいろなキーのブルースを練習します。
第6回	スタンダードナンバーとブルース	試験に向けて、練習してきたブルースやスタンダードナンバーを仕上げていきます。
第7回	テーマとアドリブ	課題曲のテーマとアドリブ、のびのびとしっかりと演奏しましょう。

クォーター末試験評価方法

テーマがちゃんと演奏出来ているか、アドリブにチャレンジ出来たか、そして、今クォーターで練習してきた、いいToneで、いいノリのビートで、のびのびと演奏しているかを評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基本のブルース	このクラスは徹底的にブルースを演奏して、基礎力をつけていきます。繰り返し、8分のノリを練習。
第2回	ビバップのスタンダードナンバー	様々なスタンダードナンバーを演奏していきます。演奏する前に、まず、名曲を聴きます。
第3回	バップの名曲を知る	ブルースでロングトーン、8分ノリの練習をした後は、スタンダードナンバーをどんどん演奏していきます。
第4回	4ビートのリズムとは	8分ノリは、曲のテンポによって変わってきます。速い曲、ミディアム、スローと、いろいろなテンポでチャレンジです。
第5回	スタンダードナンバー	同じ曲でも、ビートによって演奏の仕方が変わります。4ビートスウィングだけでなく、ボサノバやサンバでも演奏してみます。
第6回	スタンダードナンバー	試験で演奏する曲を、みんなで決めます。どんな曲を演奏したいか、どのように演奏したいか、考えましょう。
第7回	スタンダードナンバーとブルース	みんなで決めた曲のテーマとアドリブ、繰り返し、しっかりと練習しましょう。
第8回	テーマとアドリブ	テーマをしっかりと演奏し、アドリブにもチャレンジ！元気にのびのび演奏してください。

学期末試験評価方法

スタンダードナンバーを演奏する時は、とにかくテーマをきっちり演奏することが大切です。テーマがちゃんと演奏出来ているか、そして、アドリブをのびのび楽しく演奏しているかを採点します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセッションⅡ	松永加津子

科目概要

テーマをしっかりと演奏することになり慣れてきたことと思います。今度はどうやってもっとカッコ良くアドリブ演奏できるか考えていきます。イントロ、エンディングの持っていく方も勉強していき、セッションで楽しく演奏する力をつけていきます。

到達目標

カッコいいアドリブ演奏するための近道はありません。が、世の中にはたくさんのお名演奏が残されています。あなたのジャズのアイドルは誰ですか？是非コピーしてください。この授業では、コピーのやり方を学び、そして演奏への反映の仕方にチャレンジします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リズムチェンジ	ジャズの基本曲、ブルースの他にリズムチェンジの基本を知りましょう。
第2回	リズムチェンジのコード進行	リズムチェンジの曲も、ほぼコード進行は同じです。コードは暗記してしましましょう。
第3回	いろいろなリズムチェンジの名曲	リズムチェンジの名曲も、知っておいたほうが良い曲がたくさんあります。サビ部分の違いを知りましょう。
第4回	マイナーブルース	ブルースには、メジャーとマイナーの曲があります。今回はマイナーブルースのコード進行を覚えましょう。
第5回	マイナーブルースの名曲	名曲を知ることはとても大切です。マイナーの曲はけっこう取り組みやすいかも。たくさん演奏しましょう。
第6回	試験曲の練習	試験曲の練習を何度も繰り返して暗記します。アドリブもしっかりやりましょうね。
第7回	イントロやエンディング	選んだ曲をしっかりと演奏しましょう。

クォーター末試験評価方法

カウント、イントロ、テーマ、アドリブ、4～8バース、テーマ、エンディングと、一曲をしっかりと演奏できているかをチェックします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	バップ チャーリーパーカー	スタンダードナンバーを、作曲家別に研究してみましょう。カッコいい箇所を1フレーズコピーしてみましょう。
第2回	バップ デジーガレスピー	フレーズのコピーをどんどんしていきましょう。たくさんコピーして、アドリブのここぞというときに使ってみましょう。
第3回	ヘンリーマンシーニなど	コールポーターやガーシュインやエリントンやなどなど、スタンダードナンバーを知り、フレーズコピーしましょう。
第4回	ホレスシルバー	少し難しい曲にもチャレンジ！テーマを覚えて演奏すること自体が、フレーズとして使えることを知りましょう。
第5回	曲決め	様々なスタンダードナンバーの中から、演奏したい曲を決め、みんなでどう演奏するか相談して決めます。
第6回	試験曲の練習	まず、テーマを暗記すること。ソロはできれば自由に演奏したいところですが、考えて決めてもいいです。
第7回	試験曲の練習	繰り返し練習。練習中に、いろんなフレーズやビートを思考錯誤してチャレンジしてみてください。
第8回	総合的な演奏	選んだ曲をしっかりと演奏しましょう。

学期末試験評価方法

セッションとして成り立つ演奏ができたか、テーマ、アドリブ、イントロ、エンディング、そして何より、仲間と一緒に、楽しんで演奏できたかどうかをチェックします。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセッション I	宮本裕史

科目概要

ジャムセッションに必要な知識と技術を短期間で吸収し、並行して即興主体のジャズアンサンブルに於いて必要とされる様々な技法や常識を学んでいきます。また、専攻実技や各授業で得た知識や技術を試す一番身近な実験の場としての役割も大切にしながら進行していきます。

到達目標

春学期はクラス内での音楽的基礎知識を共有することに重点を置きます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズアンサンブルの基礎知識	各楽器の役割や一般的なジャズアンサンブルでの曲の構成について解説。共通の認識を増やします。
第2回	鑑賞と模倣1	前回の解説と照らし合わせながら過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
第3回	アドリブ中の各楽器の練習1	簡単な和音進行の曲でソロ、ベースのウォーキング、ピアノのコンピング、ドラムのレガートなどを反復練習をします。
第4回	定番曲テーマアンサンブル練習1	全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習をします。
第5回	アドリブ中の各楽器の練習2	第3回の延長。また、第7回の日に行う試験曲を決め、その際の方針を相談し合います。
第6回	試験曲準備	試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
第7回	試験・ジャズ合奏。	今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

クォーター末試験評価方法

下級生は基礎理解度合、上級生は上達度合を重視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験反省会	試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
第2回	鑑賞と模倣2	過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
第3回	アドリブ中の各楽器の練習3	各楽器の役割、ソロ、ベースのウォーキング、ピアノのコンピング、ドラムのレガートなどを反復練習をします。
第4回	定番曲テーマアンサンブル練習2	全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習を中心に授業します。
第5回	様々なテンポの練習	バラード以外の全テンポを経験。また夏休み前に各生徒の課題(宿題ではない)を告げそれぞれの攻略方法を考えます。
第6回	夏休み明けの進歩確認	長期休暇中にどれだけ復習できたかを確認します。
第7回	試験曲準備	試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
第8回	試験・ジャズ合奏。	今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

学期末試験評価方法

下級生は基礎理解度合、上級生は上達度合を重視します。



ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセッションⅡ	宮本裕史

科目概要

秋学期は応用力の向上を目指します。知識や技法の転用範囲を意識的に押し広げます。

到達目標

創造的な選択を演奏中に常に意識できるだけの余裕獲得を目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験反省会	試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
第2回	鑑賞と模倣3	過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
第3回	アドリブ中の各楽器の練習4	各楽器個別の課題を決めアンサンブルを通してそれを解決する反復練習をします。
第4回	定番曲テーマアンサンブル練習3	全員で対応可能な範囲内のジャズスタンダード曲テーマ部分の練習を中心に進行します。
第5回	ダイナミクス	抑制が利き、十分に間(ま)を取った静かな演奏と、爆発的な激しい演奏の双方の研究をします。
第6回	試験曲準備	試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
第7回	試験・ジャズ合奏。	今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

クォーター末試験評価方法

下級生・上級生ともに上達度合を重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	試験反省会	試験の際の演奏を聞き返し、各自反省点を述べ、改善の実験をします。
第2回	鑑賞と模倣4	過去の名演などを鑑賞・分析。参考に出来そうな部分を抽出し再現実験します。
第3回	違うリズム	ラテンやブラジル音楽、ファンクなどのリズム、または3拍子などを演奏し、今までの学習からの応用を試します。
第4回	冬休み明けの進歩確認	アンサンブルにおける情報処理速度を長期休暇中にどれだけアップできたかを確認します。
第5回	情報交換会	学外のジャムセッションや音楽活動経験など、各生徒が体験した情報を共有。講師が経験したエピソードも披露します。
第6回	アドリブ中の各楽器の練習5	各楽器個別の課題を決め、様々な曲の合奏を通してそれを解決する反復練習をします。
第7回	試験曲準備	試験で行う曲の反復練習。各レベル、各楽器に合わせた難易度設定を設けその攻略ポイントを解説します。
第8回	試験・ジャズ合奏。	今までの学習を生かしつつ自由な発想を試すことを目標に講師陣の前で演奏発表します。

学期末試験評価方法

下級生・上級生ともにアンサンブルに対する意識の深さ、そして以前からの上達度合を重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセッション I	山本裕之

科目概要
ジャズ・スタンダードを題材にジャムセッションを行い即興的な演奏を学びます。スタンダードが持つ伝統的なイントロやエンディング、リズム等を学びます。また、それらを敢えて取り入れないセッションも行い即興性、自発性、協調性を磨きます。曲は変更する可能性があります。
到達目標
題材に取り上げたスタンダード曲は、メロディ、コード進行をなるべく暗譜します。それぞれのスタンダード曲が持つ、伝統的なイントロやエンディング、リズム等を覚え、且つイレギュラーな場合でも即興性、自発性、音での会話ができる事を目標とします。

授業計画		
1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Watermelon man , Now's the time	ブルージーな曲を題材にして、ブルースフィーリング、スウィングを体現します。また周りの音を聞く事を学びます。
第2回	Work song, Summertime	比較的ブルージーな曲を題材にして、ダイアトニックコード以外のコードを学びます。また定番のキックを学びます。
第3回	Days of wine&roses, St,thomas	転調が含まれるコードチェンジを学びます。また、カリブソのリズムでジャムセッションを体現します。
第4回	Autumn Leaves,Girl From Ipanema	メジャー、マイナーⅡ-Vが含まれる曲を題材に学びます。また Bossa Novaのリズムを体現します。
第5回	Bye bye blackbird,Cantaloupe Island	スウィング、16beatのフィールを体現します。また様々なイントロ、エンディングを学びます。
第6回	試験で演奏する曲 2曲ほど	試験で演奏する曲を決めて、簡単なヘッドアレンジを行います。セッションなので、決まり事は必要最低限にします。
第7回	試験	約20分間で2~3曲セッションを行います。決まり事の少ないセッションで自分を表現し、メンバーを活かす事を目標とします
クォーター末試験評価方法		
演奏内容(スムーズにメロディ、良いソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。即興性、自発性、協調性がバランス良く、音での会話成り立っていること等)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。		
2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	On green dolphin street, A Night in Tunisia	リズムのチェンジ(ラテン~スウィング等)を行いながらジャムセッションを体現します。定番のキックも学びます。
第2回	You'd be so nice to come home to, On the sunny side of the street	音色の良さやニュアンスについて考え、レイドバックなどを体現します。良いタイムやフィールについて学びます。
第3回	There will never be another you It could happen to you, Confirmation	歌物のスタンダードナンバーとビバップのナンバーのメロディの歌い方や、ソロの取り方などを学び、体現します。
第4回	Yardbird suite, I remember April	ビバップのナンバーの定番のキックを学びます。またリズムのチェンジ(ラテン~スウィング等)を体現します。
第5回	So what, My one&only love	モード(ドリアン)でのソロの取り方を学びます。またジャズ・バラードのフィールについて学び、体現します。
第6回	Joy spring , Softly,as in a morning sunrise	コードチェンジが細かく転調が多い曲と、反対に転調が少なく同じコードが続く曲を学び、体現します。
第7回	試験で演奏する曲 2曲ほど	試験で演奏する曲を決めて、簡単なヘッドアレンジを行います。セッションなので、決まり事は必要最低限にします。
第8回	試験	約20分間で2~3曲セッションを行います。決まり事の少ないセッションで自分を表現し、メンバーを活かす事を目標とします
学期末試験評価方法		
演奏内容(良いニュアンスでソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。即興性、自発性、協調性がバランス良く、音での会話成り立っていること等)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。		

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセッションⅡ	山本裕之

科目概要

ジャズ・スタンダードを題材にジャムセッションを行い即興的な演奏を学びます。スタンダードが持つ伝統的なイントロやエンディング、リズム等を学びます。また、それらを敢えて取り入れないセッションも行い即興性、自発性、協調性を磨きます。曲は変更する可能性があります。

到達目標

題材に取り上げたスタンダード曲は、メロディ、コード進行をなるべく暗譜します。それぞれのスタンダード曲が持つ、伝統的なイントロやエンディング、リズム等を覚え、且つイレギュラーな場合でも即興性、自発性、音での会話ができる事を目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Oleo, Good bait	リズムチェンジ(循環コード)の曲を題材にして学びます。それぞれの曲が持つテンポ感を大事にしてソロを体現します。
第2回	But not for me, Love for sale	Ⅱ7から始まる曲のイントロの出し方を学びます。また、どうしてⅡ7から初まる曲に変化したのかを学びます。
第3回	Star eyes, The shadow of your smile	Ⅱ7から始まる曲の音使いや、イントロを学びます。またリズムのチェンジ(ラテン～スウィング等)を体現します。
第4回	Seven steps to heaven, In a sentimental mood	早いスウィングを学び、体現します。また定番のキックや、イレギュラーなコード進行を学び、体現します。
第5回	I'll close my eyes, If I should lose you	メジャー、マイナーKeyの歌物のスタンダードナンバーのメロディの歌い方、ソロの取り方を学びます。
第6回	試験で演奏する曲 2曲ほど	試験で演奏する曲を決めて、簡単なヘッドアレンジを行います。セッションなので、決まり事は必要最低限にします。
第7回	試験	約20分間で2～3曲セッションを行います。決まり事の少ないセッションで自分を表現し、メンバーを活かす事を目標とします

クォーター末試験評価方法

演奏内容(良いニュアンスでソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。即興性、自発性、協調性がバランス良く、音での会話が成り立っていること等)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Blue monk, Hove you met miss Jones	ブルージーな音使い、レイドバック、スウィングフィールを学び、体現します。また良い音色について考え、学びます。
第2回	Speak low, I remember you	リズムのチェンジ(ラテン～スウィング等)を行いながらジャムセッションを体現します。定番のキックも学びます。
第3回	Candy, Caravan	7thコードや、サブドミナントでの様々なアプローチについて学びます。早いテンポでラテン～スウィングを体現します。
第4回	Ornithology, Body&soul	替え歌(元曲How high the moon)について学びます。またジャズ・バラードのフィールを体現します。
第5回	Bolivia, Stable mates, Along came betty	Benny golsonの名曲を題材にして、コード進行を分析します。コンテンポラリーなサウンドを体現します。
第6回	Moment's notice, Tell me a bedtime story	John Coltrane, Herbie Hancockの名曲を題材にして、コード進行を学び、セッションをして体現します。
第7回	試験で演奏する曲 2曲ほど	試験で演奏する曲を決めて、簡単なヘッドアレンジを行います。セッションなので、決まり事は必要最低限にします。
第8回	試験	約20分間で2～3曲セッションを行います。決まり事の少ないセッションで自分を表現し、メンバーを活かす事を目標とします

学期末試験評価方法

演奏内容(良いニュアンスでソロが取れていること。安定していて、且つ刺激的な伴奏ができていること。即興性、自発性、協調性がバランス良く、人を惹きつける演奏をしていること)、及び授業での取り組みで評価します。連動性のある内容なので、出席も重視します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	セオリー&パフォーマンス I	関谷友貴

科目概要

セオリーの授業と連動して、自分の楽器で音を確認しつつ、音楽理論をマスターします。1クォーターはインターバルとメジャーダイアトニックとトライアド、2クォーターは4和音のアルペジオとジャズブルースを取り上げます。

到達目標

コードシンボルを見て、適切なアルペジオが演奏できるようになるのを目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス & インターバル導入	授業概要と、自己紹介、基本的なインターバルである全音(maj2)と半音(min2)の違いを説明します。
第2回	インターヴァル & トライアド	maj3,min3,perfect4th,perfect5thのインターバルと、メジャートライアド、マイナートライアドを説明します。
第3回	Circle of 5th	メジャーkeyでの5度圏の理解を深めます。
第4回	ダイアトニックコード導入	メジャーキーのダイアトニックコードの説明します。
第5回	インターヴァル	maj6,min6,maj7,min7のインターバルを説明します。
第6回	トライアド	AugmentとDiminishのインターヴァルとオーギュメントトライアド、ディミニッシュトライアド、sus4コードを説明します。
第7回	小テスト	自分の楽器でこれまで取り扱ったインターヴァルを演奏します。

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。上昇&下降のインターヴァルを理解して、自分の楽器で演奏できるかどうかを評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	4和音のコード1	4和音のコード構成とメジャーセブンスコード、マイナーセブンスコードを説明します。
第2回	4和音のコード2 & II-V	セブンスコード、ハーフディミニッシュコードとツーファイブを説明します。
第3回	Jazz Blues in F	Straight no chaserなどのJazz Bluesのアルペジオを分析&演奏します。
第4回	Jazz Blues in Bb	Tenor madnessなどのJazz Bluesのアルペジオを分析&演奏します。
第5回	アルペジオ展開	ルート以外の度数からコードを展開させてBlue Bossaなどをアルペジオ分析&演奏します。
第6回	夏休み課題確認&復習	夏休みの課題確認と、これまでの内容の総復習します。
第7回	テスト対策	これまで取り扱った曲をテストに向けて対策します。
第8回	テスト	これまで取り扱った曲を使って、アルペジオとインプロヴァイズします。

学期末試験評価方法

出席率を重視します。曲のテーマをしっかり歌えているか、コードにあったアルペジオを演奏できているかを評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	セオリー&パフォーマンスⅡ	関谷友貴

科目概要

セオリーの授業と連動して、自分の楽器で音を確認しつつ、音楽理論をマスターします。3クォーターはモード、4クォーターはマイナーキーの曲やモーダルインターチェンジを取り上げます。

到達目標

アンサンブルの中で、自分がイメージしたメロディをインプロヴァイズ出来ることを目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コーダルとモーダル	コーダルの音楽とモーダルの音楽の違いとモード音楽の導入。アイオニアンとエオリアンの説明します。
第2回	リディアン	リディアンのテンション、アボイドノート、キャラクタースティックノートなど分析、Little Sunflowerなどの曲を使って自分の楽器で演奏する。
第3回	ミクソリディアン	ミクソリディアンのテンション、アボイドノート、キャラクタースティックノートなど分析、The Chickenなどの曲を使って自分の楽器で演奏する。
第4回	ドリアン	ドリアンのテンション、アボイドノート、キャラクタースティックノートなど分析、So Whatなどの曲を使って自分の楽器で演奏する。
第5回	フリジアン	フリジアンのテンション、アボイドノート、キャラクタースティックノートなど分析、La Fiestaなどの曲を使って自分の楽器で演奏する。
第6回	ロクリアン	ロクリアンのテンション、アボイドノート、キャラクタースティックノートなど分析、Inner Urgeなどの曲を使って自分の楽器で演奏する。
第7回	小テスト	7つのモードを理解して自分の楽器で演奏する。

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。曲のテーマをしっかり歌えているか、モードを正しく使えているか評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	マイナーダイアトニック	3種類のマイナーダイアトニックを説明、自分の楽器で演奏します。
第2回	Autumn Leaves分析	マイナーダイアトニックに基づいた曲のアナライズ、裏コードなども分析します。
第3回	Autumn Leaves演奏	メジャーとマイナー、2つのツーファイブを自分の楽器で演奏します。
第4回	冬休み課題確認	第4回目の授業内容を50字程度で記入してください。このセルは自動折り返しの設定になっています。
第5回	マイナーブルース	Mr.P.C.などのマイナーブルースを分析、演奏します。
第6回	モーダルインターチェンジ導入	これまで扱った7つのモードを復習し、モーダルインターチェンジを説明します
第7回	モーダルインターチェンジアナライズ	On green dolphin st.などモーダルインターチェンジ使用されている曲を分析、自分の楽器で演奏します。
第8回	テスト	これまで取り扱った曲を演奏します。

学期末試験評価方法

出席率を重視します。曲のテーマをしっかり歌えているか、メジャーとマイナー、2つのツーファイブが使えているか、コードに対して正しいスケールが使われているかを評価します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ドラムセットトレーニング I	吉川 弾

科目概要

ドラムは四肢を駆使して演奏する楽器なので、その能力を高めるための姿勢、グリップ等、一から基礎練習を行います。ドラムやシンバルから最高のトーンを引き出す秘訣や、様々なビート、複雑なコーディネーションを勉強していきます。

到達目標

ドラムとはどういう楽器なのか、バンドにおける役割を理解した上で教科書に出てくるパターンや様々なコーディネーションが演奏出来るかどうか、そして何より機械的ではなく、音楽的に演奏出来る事。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	ドラムセットのベーシックな構成の説明。
第2回	手に付いて	スティックの握り方。左右のグリップ。
第3回	メカニクス	基本ストローク。リバウンドの練習。
第4回	練習方法と楽譜に付いて	正しい練習方法と楽譜の正しい読み方。
第5回	ルーディメンツ	リズムックスタイル→Swing8thノート・フィールとstraight8thノート・フィール。
第6回	足について	ドラムセットのセットアップ、スネアドラム、ベースドラム、ヒールアップ&ダウン奏法。ハイハットのオープンクローズ。
第7回	テスト	実技試験

クォーター末試験評価方法

クォーター末試験 ・ 宿題 ・ 授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ビート・アンド・エクササイズ	音楽におけるドラマーの役割、ドラムセットにおける基本的なコーディネーションスキル。
第2回	ビート・アンド・エクササイズ	ドラムやシンバルから最高のトーンを引き出す秘訣とは。
第3回	ビート・アンド・エクササイズ	コーディネーション、シンプルなビート。
第4回	ビート・アンド・エクササイズ	8thノートビートの様々なパターン。
第5回	ビート・アンド・エクササイズ	16thノートビートの様々なパターン。
第6回	ビート・アンド・エクササイズ	ライドシンバルで演奏するビート
第7回	ビート・アンド・エクササイズ	Swing8thビート
第8回	テスト	実技試験

学期末試験評価方法

クォーター末試験 ・ 宿題 ・ 授業への取り組み方で評価します。出席 ・ 遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ドラムセットトレーニングⅡ	吉川 弾

科目概要

テンポとサブディビジョン、複雑なコンピング、様々なビート、ドラムソロ、アンサンブルについてより深く勉強していきます。

到達目標

ドラムとはどういう楽器なのか、バンドにおける役割を理解。四肢を駆使するが、機械的ではなく、音楽的に演奏出来る事。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	テンポとサブディビジョン	スローテンポ、アップテンポとswing FEEL
第2回	テンポとサブディビジョン	タイム感を身に付ける。フィルイン。コンテキストの中でフィルをする。
第3回	コンピング	コンピングボキャブラリー、コンピングエクササイズ
第4回	コンピング	ハイハットバリエーション
第5回	コンピング	ハイハットバリエーション
第6回	コンピング	ヘミオラ・エクササイズ
第7回	テスト	実技試験

クォーター末試験評価方法

クォーター末試験・宿題・授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コンピング	インターディペンデンス (elvin-ism、Philly joe-ism、Matrix)
第2回	コンピング	ロック、ポップ、ファンク・コンテキストにおけるコンピング。
第3回	コンピング	ロック、ポップ、ファンク・コンテキストにおけるコンピング。
第4回	ドラム・ソロ	ダイナミクス。(Sing,Sing,Sing ソロテクニック)
第5回	アンサンブルでの演奏	スモール・グループ、ラージ・グループ。
第6回	読譜	Rhythm Method、シンプル・チャート、複雑なチャート。
第7回	ブラシ	レガート&スタッカート。ブラシアーティキュレーション・エクササイズ
第8回	テスト	実技試験

学期末試験評価方法

クォーター末試験・宿題・授業への取り組み方で評価します。出席・遅刻もおおいに関係しますので授業には積極的に取り組みましょう。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンポーシング I	久保田浩之

科目概要

オリジナル作品を制作するために必要なスキルとノウハウの基礎を学びます。作曲に不可欠なモチーフディベロップメントの基礎を理解し、一貫性のあるシンプルでわかりやすいメロディーとハーモニーを備えた作品作りを学び、同時に記譜法や簡単なアレンジの技法を習得します。

到達目標

ブルース等のコード進行があらかじめ固定されているフォーマット上でメロディーを創作、その譜面を作成しセッションできるようにします。メジャースケールとダイアトニックなコード進行を用いた短い曲を創作しリードシートを作成、セッションの中でアレンジの技法を紹介します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス・楽典・記譜法の基礎1	本科目の解説・基礎的な音楽知識の確認
第2回	楽典・記譜法の基礎2	正しくわかりやすい譜面の書き方・リズムや音程の表記法
第3回	ブルース進行を用いたメロディー創作	ブルースとは？ブルース進行・ブルーススケールを使って作曲
第4回	モチーフディベロップメント1	良いメロディーとは？メロディーを構成する要素モチーフ
第5回	モチーフディベロップメント2	モチーフの反復と発展・少ないモチーフでメロディーを創作
第6回	ブルース進行を用いたメロディー創作	モチーフディベロップメントを取り入れたブルーステーマの創作
第7回	作品提出・作品の紹介&セッション	提出された作品の中から優秀作品を選びセッションします

クォーター末試験評価方法

提出作品のクオリティー 40%  
積極性・授業への貢献度 30%  
出席状況 30% で成績評価を算出します

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	名曲分析・メロディー	様々な名曲をモチーフディベロップメントの観点から分析します
第2回	名曲分析・ハーモニーとアレンジ	様々な名曲をコード進行やアレンジの観点から分析します
第3回	ペンタトニックスケール(メジャー)	メジャーペンタトニックスケールを用いたメロディー創作
第4回	ペンタトニックスケール(マイナー)	マイナーペンタトニックスケールを用いたメロディー創作
第5回	FUNKYでSOULFULな楽曲作り	ペンタトニックスケールを効果的に使った楽曲の創作
第6回	メジャースケール1	メジャースケールとダイアトニックコードを用いたテーマ創作
第7回	メジャースケール2	メジャースケールとダイアトニックコードを用いたテーマ創作
第8回	作品提出・作品紹介&セッション	提出された作品の中から優秀作品を選びセッションします

学期末試験評価方法

提出作品のクオリティー 40%  
積極性・授業への貢献度 30%  
出席状況 30% で成績評価を算出します



ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンポーザングⅡ	久保田浩之

科目概要

既存曲のコード進行等を用いてメロディーを創作しながら場面展開のある楽曲を構築していく手法を学びます。重要な作曲家のスタイルを分析し様々なグルーブやアレンジのスタイルの基礎を学びながら自分の創作に活かせる「引き出し」と自分に合った作曲方法を探します。

到達目標

スタンダード曲のコード進行上でコードトーンを効果的に使ったモチーフディベロップメントによるメロディーの創作と音楽的な場面展開の手法を実践を通して理解しましょう。様々な作曲手法やアレンジのアイデアを自由課題作品に少しでも反映できるように引き出しを増やしましょう

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	楽曲の形式と構成・場面の展開	AABA、ABAC等の形式のバリエーション、場面展開の必要性
第2回	既存曲のコード進行を用いた作曲	スタンダード曲のコード進行を借用した曲作り・コードトーン
第3回	既存曲のコード進行を用いた作曲	スタンダード曲のコード進行を借用した曲作り応用編
第4回	定番コード進行を用いた作曲	ジャンル別定番コード進行の紹介とそのメロディー作り
第5回	定番コード進行を用いた作曲	ジャンル別定番コード進行の紹介とそのメロディー作り応用編
第6回	1コーラスの作曲に挑戦	スタンダード曲のコード進行と形式を使って1コーラス楽曲創作
第7回	作品提出・作品の紹介&セッション	提出された作品の中から優秀作品を選びセッションします

クォーター末試験評価方法

提出作品のクオリティー 40%  
 積極性・授業への貢献度 30%  
 出席状況 30% で成績評価を算出します

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	講師の作品紹介と解説	講師の様々な作品を紹介しその曲ができた背景と作曲術を解説
第2回	様々な作曲術と作曲のコツ	DTMやアプリ等を活用した作曲、着想のために必要なこと
第3回	ジャンル別重要楽曲の作曲家研究	時代を築いてきた様々な重要作曲家を知りその作品を分析
第4回	アレンジ研究・グルーブ	ジャンル別の基本となるグルーブとそのバリエーション
第5回	アレンジ研究・オーケストレーション	ジャンル別の特徴的な楽器編成とそのアレンジ術
第6回	自由課題のための準備1	フリーテーマでオリジナル楽曲を作るために必要なこと
第7回	自由課題のための準備2	作品提出に向けた仕上げに必要なアドバイスなど
第8回	作品提出・作品の紹介&セッション	提出された作品の中から優秀作品を選びセッションします

学期末試験評価方法

提出作品のクオリティー 40%  
 積極性・授業への貢献度 30%  
 出席状況 30% で成績評価を算出します

ジャズポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	レコーディング	前田基彦

科目概要

レコーディングスタジオにおいて必要な知識を演奏を通じて習得する授業です。ミュージシャン、プレーヤーとして無くてはならないレコーディングにおける必要知識を、学生が演奏曲を自由に選びみんなで演奏する形式で学んでいきます。

到達目標

レコーディング時に必要なアンサンブル力、コミュニケーションスキル、キューボックス使用法の習得。楽曲のアレンジを研究、演奏することで授業外での活動(バンドやアレンジ等)のヒントとなる知識習得。簡易的なセルフレコーディング作業スキル習得。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲 1	楽曲発表、楽譜作成
第2回	課題曲 1	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第3回	課題曲 1	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第4回	課題曲 2	楽曲発表、楽譜作成
第5回	課題曲 2	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第6回	課題曲 2	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第7回	自由曲 選定作業	楽曲発表、楽譜作成

クォーター末試験評価方法

小テスト結果 (レコーディングにおける必要知識、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル)30%、 レポート(譜面作成スキル)30%、欠席や遅刻の有無30%、 受講態度や積極性10%で算出致します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自由曲 1	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第2回	自由曲 2	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第3回	自由曲 3	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第4回	自由曲 4	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第5回	自由曲 5	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第6回	自由曲 6	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第7回	自由曲 7	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第8回	自由曲 8	演奏(リハーサル2回、本番1回)期末テスト

学期末試験評価方法

期末テスト結果 (レコーディングにおける必要知識、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル)30%、 レポート(譜面作成スキル)30%、欠席や遅刻の有無30%、 受講態度や積極性10%で算出致します。

ジャズポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	レコーディング	前田基彦

科目概要

レコーディングスタジオにおいて必要な知識を演奏を通じて習得する授業です。ミュージシャン、プレーヤーとして無くてはならないレコーディングにおける必要知識を、学生が演奏曲を自由に選びみんなで演奏する形式で学んでいきます。

到達目標

レコーディング時に必要なアンサンブル力、コミュニケーションスキル、キューボックス使用法の習得。楽曲のアレンジを研究、演奏することで授業外での活動(バンドやアレンジ等)のヒントとなる知識習得。簡易的なセルフレコーディング作業スキル習得。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自由曲 1	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第2回	自由曲 2	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第3回	自由曲 3	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第4回	自由曲 4	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第5回	自由曲 5	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第6回	自由曲 6	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第7回	自由曲 7	演奏(リハーサル2回、本番1回) 小テスト

クォーター末試験評価方法

小テスト結果 (レコーディングにおける必要知識、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル)30%、 レポート(譜面作成スキル)30%、欠席や遅刻の有無30%、 受講態度や積極性10%で算出致します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自由曲 1	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第2回	自由曲 2	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第3回	自由曲 3	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第4回	自由曲 4	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第5回	自由曲 5	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第6回	自由曲 6	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第7回	自由曲 7	演奏(リハーサル2回、本番1回)
第8回	自由曲 8	演奏(リハーサル2回、本番1回) 期末テスト

学期末試験評価方法

期末テスト結果 (レコーディングにおける必要知識、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル)30%、 レポート(譜面作成スキル)30%、欠席や遅刻の有無30%、 受講態度や積極性10%で算出致します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズ・ポピュラー概論 I	高野正一

科目概要

ポップスの歴史を学ぶ 現代に曲の解説から時代背景から代表するアーティストの音、映像を交えジャズを中心に2000年位までジャズの変遷を学ぶ。  
PUAとはPick Up Artist(ピックアップ・アーティスト)の略

到達目標

ジャズの歴史・各楽器についてについての理解。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	POPSの発祥 どのように日本に上陸?	ペリーが久里浜上陸の際演奏した曲、アメリカのその時代のPOPSとは、楽器編成は?
第2回	ジャズの歴史①ブルース	1900年のポップミュージック、ロック・ポップスの母体となったブルースとはどのように生まれたか? PUA:ブルースの父ウィリアム・C・ハンディ
第3回	ジャズの歴史②ラグタイム	ブルースと西洋音楽。 ラグタイムピアノ PUA:スコット・ジョブリン、ジェリー・ロールモートン
第4回	ジャズの歴史③シカゴジャズ	ブルーノートスケールとはどのように生まれか? PUA:ルイ・アームストロング、ベニー・グッドマン
第5回	ジャズの歴史④ビックバンド	ビックバンド全盛時代 PAU:デューク・エリントン、カウント・ベイシー
第6回	ジャズの歴史⑤ビバップ I 管楽器	スウィングからビバップへ PUA:チャーリー・パーカー、マイルス・デイビス、
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	ペーパーテスト、レポート提出でフェバリットアーティストの紹介原稿の作成。

クォーター末試験評価方法

レポート提出。授業内に小テスト

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズの歴史⑥ビバップ II	スウィングからビバップへ PUA:チャーリー・クリスチャン、ウェス・モンゴメリー、バド・パウエル
第2回	ジャズの歴史⑦ビバップ III	スウィングからビバップへ PUA:アート・レイキー
第3回	ジャズの歴史⑧ウェスト・コーストジャズ	洗練されたジャズ PUA:チェット・ベイカー、バド・シャンク、
第4回	ジャズの歴史⑨イーストコーストジャズ	ファンキーなジャズ PUA:ホレス・シルバー
第5回	ジャズの歴史⑩モードジャズ I	無調 Dm7とEbm7だけで曲ができる。 課題曲:SO WHAT PUA:マイルス・デイビス、ジョン・コルトレーン、バット・マルティーン
第6回	ジャズの歴史⑪モードジャズ II	楽曲分析 ささまざまなスタイル、楽器編成でのモード曲の音源を聴く
第7回	ジャズの歴史⑫珍しい楽器でのジャズ	ハーモニカ、バイオリン、オルガントリオ PUA:ジミー・スミス、ステファン・グラッペリ、トウーツ・シールマン
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	ペーパーテスト、レポート提出でフェバリットアーティストの紹介原稿の作成。

学期末試験評価方法

レポート提出。授業内に小テスト

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズ・ポピュラー概論Ⅱ	高野正一

科目概要

後期は前期に続きモードジャズからの変遷、楽器、特徴あるレーベルについてとりあげる。また「私の1枚」と題して自分の選んだ、CD、DVDをプレゼンテーションし、アーティストの紹介を図る。

到達目標

“私の1枚”プレゼン内容アーティストを紹介するプレゼン能力を養う。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	“私の1枚”プレゼンテーション	自分の好きなアーティストをどのように伝えるか？
第2回	ボサノバ①	PUA:アントニオ・カルロス・ジョビン “私の1枚”プレゼンテーション
第3回	ボサノバ②	PUA:セルジオ・メンデス “私の1枚”プレゼンテーション
第4回	ジャズロック・フュージョン①ギター	PUA:パット・メセニー、ラリー・カールトン、リー・リトナー “私の1枚”プレゼンテーション
第5回	ジャズロック・フュージョン②ギター	PUA:ジョン・マクラグリン “私の1枚”プレゼンテーション
第6回	クリスマスソング	時期的にミュージシャンにとって重要なクリスマスソングを聴かせる。
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	ペーパーテスト、レポート提出でフェバリットアーティストの紹介原稿の作成。

クォーター末試験評価方法

レポート提出。授業内に小テスト

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズロック・フュージョン③管楽器	PUA:トム・スコット、グローバー・ワシントン、キャンディ・ダルフアー “私の1枚”プレゼンテーション
第2回	ジャズロック・フュージョン④管楽器	PUA:エリック・マリエンサル、ウェイン・ショーター(WR) “私の1枚”プレゼンテーション
第3回	ジャズロック・フュージョン⑤	PUA:ハービー・ハンコック、デオダート、ボブ・ジェームス “私の1枚”プレゼンテーション
第4回	売れたジャズ (ブルーノートレーベル編)	PUA:ハービー・ハンコック、ソニー・クラーク、ホレス・シルバー “私の1枚”プレゼンテーション
第5回	売れたジャズ CTILレーベル	PUA:スタンレー・タレンティン、デオダート、ボブ・ジェームス “私の1枚”プレゼンテーション
第6回	売れたジャズ パープレーベル	PUA:オスカー・ピーターソン、ジミー・ミス、スタン・ゲッツ “私の1枚”プレゼンテーション
第7回	日本のジャズ	PUA:日野テルマサ、渡辺サダオ、 “私の1枚”プレゼンテーション
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	ペーパーテスト、レポート提出でフェバリットアーティストの紹介原稿の作成。

学期末試験評価方法

レポート提出。授業内に小テスト

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズセオリー I	寺屋ナオ

科目概要

この授業は、音程や和音、和音の進行や機能について学んでいきます。1Qは音程と、和音記号(コードネーム)、そして2Qはその構成音(コードトーン)について学びます。

到達目標

1Qは音程(Interval)について、理解すること。2Qはコードネームから、その構成音を理解出来るようになる事が目標です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス 小テスト	授業の概要を説明します。そして、理解度を測るための小テストを実施します。
第2回	イタリア音名と英語音名について	イタリア音名(D, E, F)と英語音名(A, B, C)の関係について確認します。
第3回	音程(Interval)について1	1オクターブ以内の音程について学びます。1
第4回	音程(Interval)について2	1オクターブ以内の音程について学びます。2
第5回	音程(Interval)について3	協和的な音程と、不協和的な音程に学びます。
第6回	音程(Interval)について4	1オクターブ以上の広い音程について学びます。
第7回	筆記試験実施	1Qの授業を踏まえた内容の筆記試験を実施します。

クォーター末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視し、出席を60%、筆記試験を40%で採点します。1Qのテストは、音程に対する理解を測る内容の試験を実施します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードネームとコードトーン(三和音)1	4つの三和音(Triad)のうち、Maj TriadとMin Triadについて学びます。
第2回	コードネームとコードトーン(三和音)2	4つの三和音(Triad)のうち、Aug TriadとDim Triadについて学びます。
第3回	コードネームとコードトーン(四和音)1	三和音に音を付加して出来る4和音について学びます。1
第4回	コードネームとコードトーン(四和音)2	三和音に音を付加して出来る4和音について学びます。2
第5回	コードネームとコードトーン(sus4など)	sus表記で表される、特殊なコードについて学びます。
第6回	コードネームとコードトーン(テンションなど)	四和音に付加される音、テンションについて学びます。
第7回	コードネームとコードトーン(add表記など)	add記号を使って表される、三和音に付加される音について学びます。
第8回	筆記試験実施	前期の授業を踏まえた内容の筆記試験を実施します。

学期末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視し、出席を60%、筆記試験を40%で採点します。和音記号(コードネーム)とその構成音(コードトーン)に対する理解を測る内容の試験を実施します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズセオリーⅡ	寺屋ナオ

科目概要

音程や和音、和音の進行や機能について学ぶ授業です。3Qは長調(Major Key)で作られる和音(Diatonic chord)とその機能について学びます。4QはDiatonic Chord以外でMajor Key上で作られる和音(Secondary Dominantなど)について学びます。

到達目標

3QはMajor KeyのDiatonic chordの機能を理解すること、4QはDiatonic chord以外のコードの機能について理解すること、が目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	メジャースケールとその構成音	長音階(Major scale)の音使いについて学びます。
第2回	メジャースケールから構成される和音	メジャースケールから作られるコード、ダイアトニックコードについて学びます。
第3回	ダイアトニックコードの三つの機能1	トニックとドミナント機能に注目してダイアトニックコードの連結を学びます。
第4回	ダイアトニックコードの三つの機能2	サブドミナント機能を含めたダイアトニックコードの連結を学びます。
第5回	コードの機能とケーデンス	トニック、ドミナント、サブドミナントの三つの機能を活用した様々なコードの連結を学びます。
第6回	ルートの動きに注目したコードの連結	2nd, 3rd, 4thの音程のルートの動きに注目し、コード進行を学びます。
第7回	筆記試験実施	3Qの授業を踏まえた内容の筆記試験を実施します。

クォーター末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視し、出席を60%、筆記試験を40%で採点します。ダイアトニックコードの機能に対する理解を図る内容の試験を実施します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	平行調と関係調	特定の調(Key)と関連する調について学びます。
第2回	転調と転調プラン	調を変える行為、転調について学びます。
第3回	セカンダリドミナント1	長調で使われる、Secondary dominantについて学びます。
第4回	セカンダリドミナント2	長調で使われる、Secondary dominantについて学びます。
第5回	Related II m7 1	Secondary dominantに関連するコード、Related II m7について学びます。
第6回	Related II m7 2	Secondary dominantに関連するコード、Related II m7について学びます。
第7回	短調の和音について	短調(minor key)のダイアトニックコードについて学びます。
第8回	筆記試験実施	後期の授業を踏まえた内容の筆記試験を実施します。

学期末試験評価方法

連続性の高い授業なので出席を重視し、出席を60%、筆記試験を40%で採点します。後期授業に対する理解を図る内容の試験を実施します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	スコアリーディング I	須田晶子

科目概要

譜面に書いてあるリズムやメロディーを基礎から理解し歌う訓練です。どの楽器でもリズムや音を声に出せるとより説得力ある音が生み出せます。更にアメリカの学校で教える共通の読み方で行うので留学を考えている人や海外のミュージシャンと触れる機会に役立ちます。

到達目標

ダイアトニックでのメロディーをどんなキーでも移動ドで歌えるようにし、理論と聴覚の基礎的なスキルをより理解できるようにします。そして色々な長さのリズムに対応し、更に演奏する上で必要なピッチ感がある程度正確に聴き取り判断していく能力を高めます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リズム&メロディ	譜面を英語の言い方で練習します。リズムは全音符～8分音符、メロディはCのキーでダイアトニック音階。
第2回	リズム&メロディ 聴音	リズムの復習、メロディはFとGのキーで移動ドで歌う練習をします。簡単なリズムとメロディの聴音をします。
第3回	リズム&メロディ	リズムは16分音符が加わったリズム、メロディはB♭とDのキーのメロディを移動度で歌う練習をします。
第4回	リズム&メロディ 聴音	2/4のリズム、メロディはA、E♭、E、A♭で練習します。今までの要素が出てくる聴音を行います。
第5回	リズム&メロディ	シンコーションを加えたリズムの練習、メロディはB、D♭、F#、G♭のキーを加えた練習。
第6回	復習と聴音	今まで出てきた要素全ての復習と応用を練習します。テストに向けた聴音の練習。
第7回	テスト	リズムとメロディの聴音、一人ずつ部屋に入り指定したメロディとリズムの譜面を読んで歌っていただきます。

クォーター末試験評価方法

出席数、授業の内容に対する取り組み方、テストの結果、そして他人との比較でなく一人一人が今までの授業で行ってきた内容の中で技術的に向上したかを確認します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	1クォーターの復習	今までのメロディやリズムの復習、聴音、そして新たに8分音符での3連符を加えた練習をします。
第2回	リズム&メロディ 聴音	応用のリズム、クロマチックのメロディの読み方を確認し練習します。
第3回	リズム&メロディ	8分音符4分音符が混ざった3連符、4分音符の3連符のリズム練習、転回を加えたメロディの練習をします。
第4回	メロディ 聴音	全てのクロマチックノートを使ったメロディ、聴音は今までの内容を含んだメロディ、リズムを練習します。
第5回	リズム&メロディ	2分音符の3連符と16分音符の3連符を加えたリズム、トニックとドミナントに関するメロディの練習をします。
第6回	リズム&メロディ 聴音	32分音符を加えたリズム、サブドミナント-ドミナント-トニックに関するメロディを練習します。
第7回	復習と聴音	今まで出てきた要素全ての復習と応用を練習します。テストに向けた聴音の練習。
第8回	テスト	リズムとメロディの聴音、一人ずつ部屋に入り指定したメロディとリズムの譜面を読んで歌っていただきます。

学期末試験評価方法

出席数、授業の内容に対する取り組み方、テストの結果、そして他人との比較でなく一人一人が今までの授業で行ってきた内容の中で技術的に向上したかを確認します。



ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	スコアリーディングⅡ	須田晶子

科目概要

リズムやメロディーを基礎から理解し歌う訓練です。春期同様の練習に加え、ライブに向けてジャズコーラスの楽曲を中心にコーラスワークを学びます。コーラスメロディ、ハーモニーのサウンドを勉強すると共に英語の発音や言葉の持つリズム感も練習します。

到達目標

今まで学んできたことを活かし最後のライブで発揮します。そしてピッチ感、リズム感、コード感、チームワーク、色んなことをみなさんの楽器演奏に繋がるような技術とマインドを身につけられるように繋げていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リズム&メロディ 聴音	全休符～4分休符を加えたリズム、トニックとドミナントファミリーに関するメロディを練習します。
第2回	リズム&メロディ 聴音	タイ、8分休符、16分休符を加えたリズム、トニック、サブドミナント、ドミナントに関するメロディ、聴音は2音のインターバルを練習します。
第3回	リズム&メロディ 聴音	復習と難易度が上がった内容のリズム、メロディ、聴音は音のインターバル、シンプルなコードを練習します。
第4回	リズム&メロディ 聴音	復習と難易度が上がった内容のリズム、メロディ、聴音は音のインターバル、シンプルなコードを練習します。
第5回	リズム&メロディ 聴音	6/8、3/8、12/8、9/8を主にリズムの練習をします。メロディはマイナー音階のメロディを練習します。
第6回	今までの復習とテストに向けての準備	今までの復習とそれぞれの苦手分野をピックアップしてレベルの向上を目標に練習します。
第7回	テスト	授業内で行ったリズムとメロディと初見の譜面を歌ってもらいます。聴音はリズム、メロディ、インターバル、コード。

クォーター末試験評価方法

出席数、授業の内容に対する取り組み方、テストの結果、そして他人との比較でなく一人一人が今までの授業で行ってきた内容の中で技術的に向上したかを確認します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	学期末のライブに向けての準備	Jazzコーラスの準備をします。3曲選び、パート分け、発音確認、パート練習などを主に練習します。
第2回	コーラス練習1曲目	発声練習、各パートに分かれてメロディ確認、発音、全員でハーモニーなどを確認しながら練習します。
第3回	コーラス練習1曲目、2曲目	発声練習、各パートに分かれてメロディ確認、発音、全員でハーモニーなどを確認しながら練習します。
第4回	コーラス練習2曲目、3曲目	前回同様の練習とJazzの独特なハーモニー、テンションノートについて観察します。
第5回	コーラス練習3曲目	発声練習、各パートに分かれてメロディ確認、発音、全員でハーモニーなどを確認しながら練習します。
第6回	テスト	今までの成果を発揮させます。コーラスの曲を少人数に分けて歌っていただきます。
第7回	ライブに向けて最終調整	曲を更に仕上げ、ステージングを考えます。バンドとの合わせを確認し練習します。
第8回	ライブ	今までの成果をパフォーマンスとして発揮させます。

学期末試験評価方法

出席数、授業の内容に対する取り組み方、テストの結果、そして他人との比較でなく一人一人が今までの授業で行ってきた内容の中で技術的に向上したかを確認します。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
春	コンピュータリテラシー I	笠原 康弘

科目概要

コンピュータの基本操作を学び、ミュージシャンの自己表現ツールとしての活用を目指す。アプリケーションの基本的操作技術を習得し、音楽活動に幅広さや時間短縮など様々な面でプラスアルファにするための講義

到達目標

科目概要イコール到達目標ですが、ソフトウェアのコマンドだけを覚えても良い音楽にはならないため、音楽の総合的な知識も同時にレベルアップしていくための講義を目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コンピュータの基礎1	起動、入力、保存媒体、フォーマット、ネットワーク、MIDIコントローラー、オーディオインターフェース、キーボード等の知識
第2回	コンピュータの基礎2	起動、入力、保存媒体、フォーマット、ネットワーク、MIDIコントローラー、オーディオインターフェース、キーボード等の知識
第3回	コンピュータの基礎3	起動、入力、保存媒体、フォーマット、ネットワーク、MIDIコントローラー、オーディオインターフェース、キーボード等の知識
第4回	PHOTOSHOP1	パンフレット、CDジャケット、フライヤー等の制作
第5回	PHOTOSHOP2	パンフレット、CDジャケット、フライヤー等の制作
第6回	PHOTOSHOP3	パンフレット、CDジャケット、フライヤー等の制作
第7回	制作	制作物の提出

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	インターネット・ミュージック	YOUTUBE等ネットをベースにしたミュージシャンの方法論
第2回	インターネット・ミュージック	YOUTUBE等ネットをベースにしたミュージシャンの方法論
第3回	インターネット・ミュージック	YOUTUBE等ネットをベースにしたミュージシャンの方法論
第4回	インターネット・ミュージック	YOUTUBE等ネットをベースにしたミュージシャンの方法論
第5回	FINALE	FINALEの基本的操作を把握し、活用する
第6回	FINALE	FINALEの基本的操作を把握し、活用する
第7回	FINALE	FINALEの基本的操作を把握し、活用する
第8回	FINALE	FINALEの基本的操作を把握し、活用する

学期末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

ジャズ・ポピュラー学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンピュータリテラシーⅡ	笠原 康弘

科目概要

コンピュータの基本操作を学び、ミュージシャンの自己表現ツールとしての活用を目指す。アプリケーションの基本的操作技術を習得し、音楽活動に幅広さや時間短縮など様々な面でプラスアルファにするための講義

到達目標

科目概要イコール到達目標ですが、ソフトウェアのコマンドだけを覚えても良い音楽にはならないため、音楽の総合的な知識も同時にレベルアップしていくための講義を目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	CUBASE講座	シーケンサー、DAWの使い方を深く知る。作曲、アレンジ、ハーモニー、理論、練習のバックトラックに至る様々な使用用途に活用
第2回	CUBASE講座	シーケンサー、DAWの使い方を深く知る。作曲、アレンジ、ハーモニー、理論、練習のバックトラックに至る様々な使用用途に活用
第3回	CUBASE講座	シーケンサー、DAWの使い方を深く知る。作曲、アレンジ、ハーモニー、理論、練習のバックトラックに至る様々な使用用途に活用
第4回	CUBASE講座	シーケンサー、DAWの使い方を深く知る。作曲、アレンジ、ハーモニー、理論、練習のバックトラックに至る様々な使用用途に活用
第5回	CUBASE講座	シーケンサー、DAWの使い方を深く知る。作曲、アレンジ、ハーモニー、理論、練習のバックトラックに至る様々な使用用途に活用
第6回	CUBASE講座	シーケンサー、DAWの使い方を深く知る。作曲、アレンジ、ハーモニー、理論、練習のバックトラックに至る様々な使用用途に活用
第7回	制作	制作物の提出

クォーター末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ミュージシャンの未来	旧音楽ビジネスモデルの崩壊と今後の展望をSNSやクリプトカレンシー、AI、シンギュラリティーをキーワードに深く考える
第2回	ミュージシャンの未来	旧音楽ビジネスモデルの崩壊と今後の展望をSNSやクリプトカレンシー、AI、シンギュラリティーをキーワードに深く考える
第3回	ミュージシャンの未来	旧音楽ビジネスモデルの崩壊と今後の展望をSNSやクリプトカレンシー、AI、シンギュラリティーをキーワードに深く考える
第4回	ミュージシャンの未来	旧音楽ビジネスモデルの崩壊と今後の展望をSNSやクリプトカレンシー、AI、シンギュラリティーをキーワードに深く考える
第5回	ミュージシャンの未来	旧音楽ビジネスモデルの崩壊と今後の展望をSNSやクリプトカレンシー、AI、シンギュラリティーをキーワードに深く考える
第6回	ミュージシャンの未来	旧音楽ビジネスモデルの崩壊と今後の展望をSNSやクリプトカレンシー、AI、シンギュラリティーをキーワードに深く考える
第7回	ミュージシャンの未来	旧音楽ビジネスモデルの崩壊と今後の展望をSNSやクリプトカレンシー、AI、シンギュラリティーをキーワードに深く考える
第8回	ミュージシャンの未来	旧音楽ビジネスモデルの崩壊と今後の展望をSNSやクリプトカレンシー、AI、シンギュラリティーをキーワードに深く考える

学期末試験評価方法

出席率を重視します。その他授業への取り組み方などが評価対象です。